

豊岡市

## 南構遺跡・南構古墳群

— 一般国道483号北近畿豊岡自動車道日高豊岡南道路に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 —

第一分冊 本文(一)



令和5(2023)年3月

兵庫県教育委員会

豊岡市

みなみ がまえ い せき      みなみ がまえ こ ふん ぐん  
南構遺跡・南構古墳群

—一般国道483号北近畿豊岡自動車道日高豊岡南道路に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

令和5(2023)年3月

兵庫県教育委員会





南構遺跡と国府平野 南西上空から



南構遺跡遠景 北東上空から

巻首図版2



南構遺跡遠景 東上空から



南構遺跡近景 東上空から



南構遺跡遠景 西上空から



南構遺跡近景 西上空から

卷首図版 4



南構遺跡遠景 北西上空から



南構遺跡近景 北西上空から



南構遺跡遠景 北東上空から



南構遺跡近景 北東上空から



南構遺跡遠景 南上空から



南構遺跡近景 北上空から



南構遺跡全景 俯瞰



P090出土遺物



SK10出土土器



南構遺跡出土土馬



南構遺跡出土と同開珎・鈔幣・土製権



南溝遺跡出土綠釉陶器・灰釉陶器・黑色土器



南溝遺跡出土綠釉陶器



南朝遺跡出土綠釉陶器 (1677)



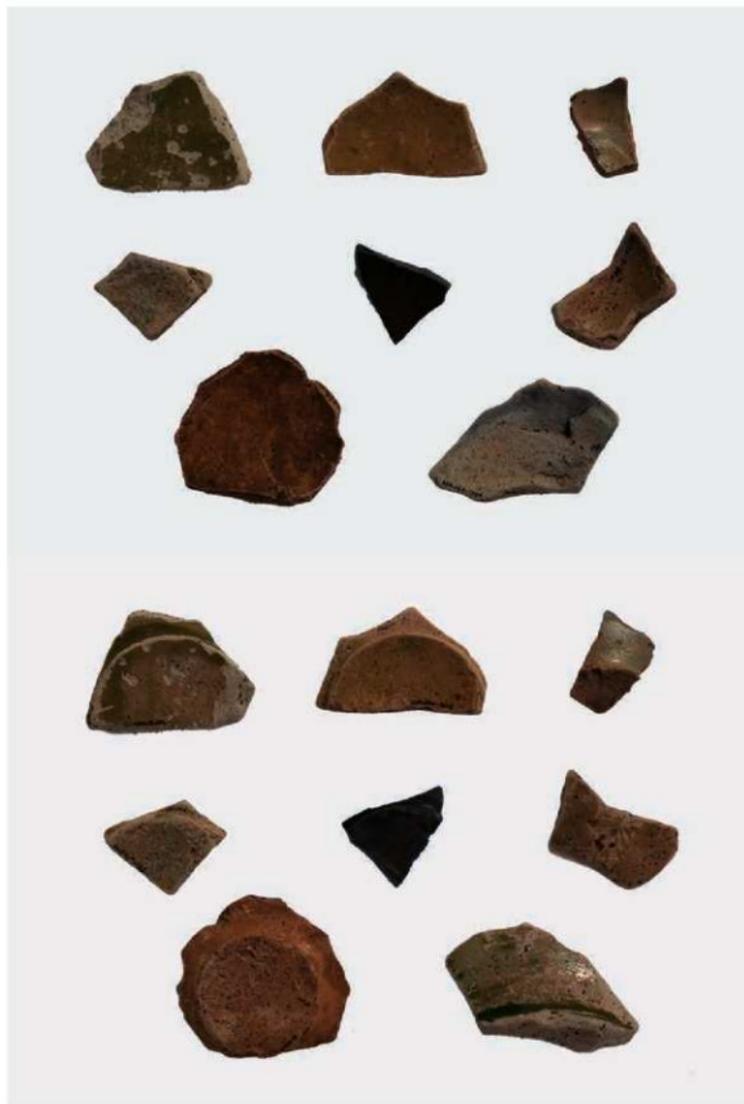
南溝遺跡出土綠釉陶器片(1)



南構遺跡出土緑釉陶器片(2)



南構遺跡出土綠釉陶器片(3)



南構遺跡出土緑釉陶器片(4)



南溝遺跡出土綠釉陶器片(5)



南溝遺跡出土黑色土器



南溝遺跡出土硯



南構1号墳全景 南から



南構1号墳出土遺物



南溝1号墳石室内出土遺物



南溝1号墳初葬面出土遺物



南構1号墳前庭部出土遺物



南構2号墳出土遺物



南構2号墳遺物出土状況 北東から



南横 3 号墳第 1 石室出土遺物



南横 5 号墳出土遺物



南構5号墳全景 南東から



南構6号墳出土遺物



南構7号墳出土遺物



南横8号出土遗物



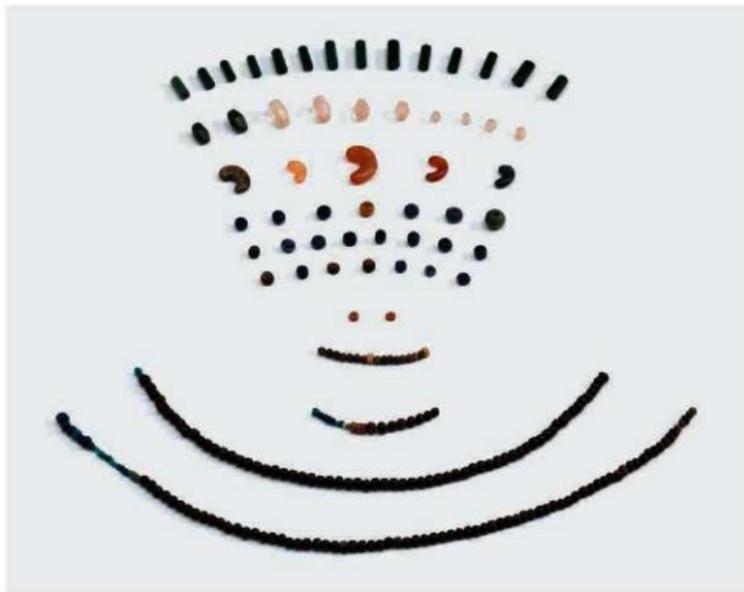
南横10号出土遗物



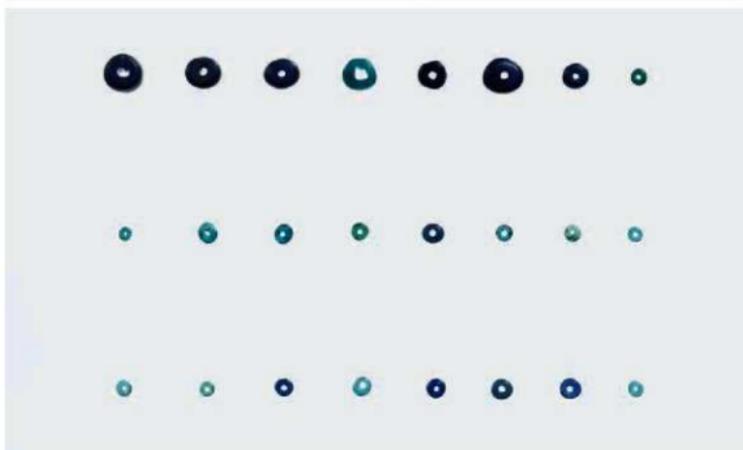
南構11号墳遺物出土状況 南東から



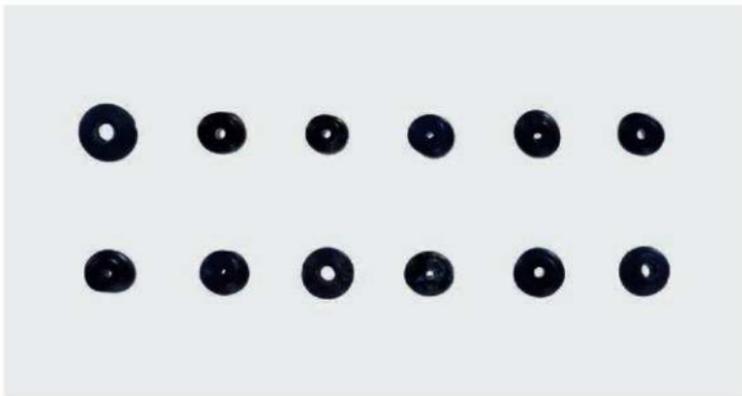
南溝11号墳出土遺物



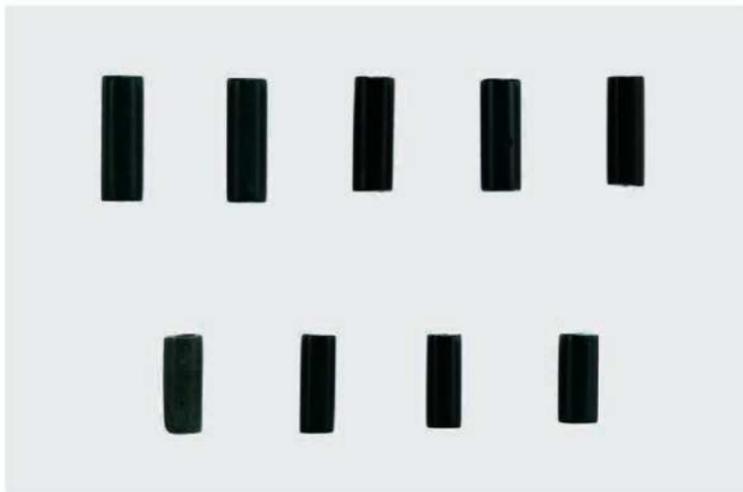
南横古墳群出土玉類



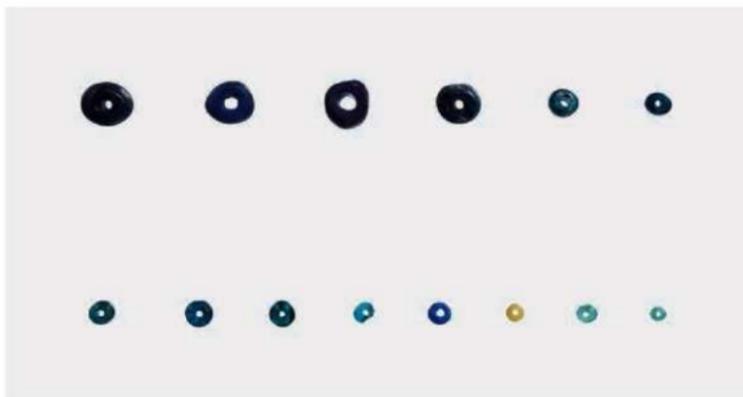
南横 2 号墳出土玉類



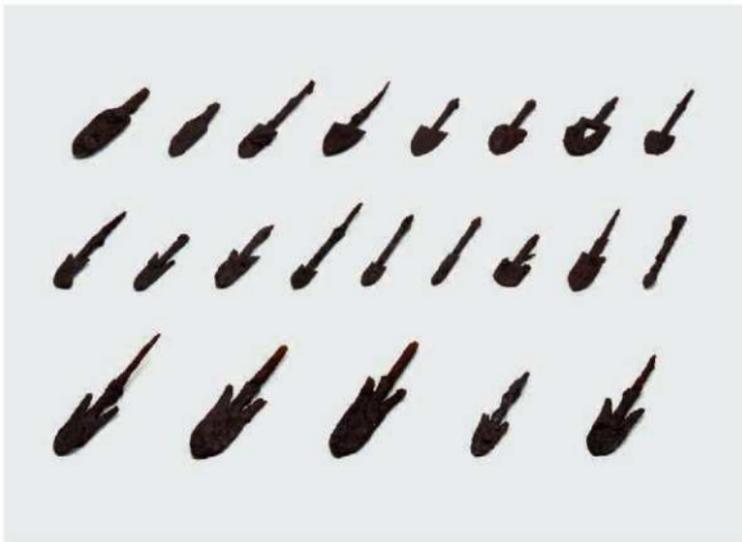
南橘3号墳第1石室出土玉類



南横6号填出土玉類



南横10号填第1石室出土玉類



南塘古墳群出土鉄镞



南塘古墳群出土刀子

## 例 言

1. 本書は、豊岡市日高町九斗に所在する南構遺跡・南構古墳群の発掘調査報告書である。
2. 本調査は、一般国道483号北近畿豊岡自動車道日高豊岡南道路事業に伴うもので、国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所の依頼に基づき、兵庫県教育委員会を調査主体として、公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部を調査機関として実施した。
3. 調査の推移は以下の通りである。

### (発掘作業)

- 確認調査（第1次） 平成23年12月26日～平成24年2月10日  
実施機関：兵庫県立考古博物館埋蔵文化財調査部
- 確認調査（第2次） 平成25年7月1日～平成25年12月6日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
- 本発掘調査（第1次調査）平成25年7月1日～平成25年12月6日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
工事請負：株式会社 山口工務店
- 本発掘調査（第2次調査）平成26年6月16日～平成26年9月24日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
工事請負：大石建設設備株式会社
- 本発掘調査（第3次調査）平成26年9月24日～平成27年2月27日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
工事請負：株式会社 山口工務店
- 本発掘調査（第4次調査）平成26年11月6日～平成27年2月25日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
工事請負：大石建設設備株式会社
- 本発掘調査（第5次調査）平成27年7月22日～平成27年10月28日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
工事請負：巴建設株式会社
- 本発掘調査（第6次調査）平成27年12月21日～平成28年2月19日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
工事請負：株式会社 中川工務店
- 工事立会（第7次調査） 平成28年8月23日～25日  
実施機関：兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課
- 工事立会（第8次調査） 平成28年11月4日  
実施機関：兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課

### (出土品整理作業)

- 平成29年4月3日～平成30年3月20日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
- 平成31年4月1日～令和2年3月19日  
実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

令和2年4月1日～令和3年3月19日

実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

令和3年4月1日～令和4年3月18日

実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

令和4年4月1日～令和5年3月17日

実施機関：公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

4. 本書の編集・執筆は、公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部 森本貴子の補助のもと、同山田清朝が担当した。
5. 本調査において出土した遺物や作成した写真・図面類は、兵庫県教育委員会（兵庫県立考古博物館）で保管している。
6. 空中写真測量は、平成25年度（第1次調査）が朝日航洋株式会社に、平成26年度が株式会社 ニコス（第2次調査）・株式会社 パスコ（第3次調査）・株式会社 ジオテクノ関西（第4次調査）に、平成27年度が株式会社 パスコ（第5次調査）・株式会社サンコム（第6次調査）に、それぞれ委託して行った。
7. 調査成果の測量については、兵庫日高・久美浜・和田山を使用して3級基準点測量を実施した。座標は世界測地系に基づくもので、調査地は第V系に属する。
8. 本書に用いた方位は座標北を示す。また、標高は東京湾平均海水準を基準とした。
9. 遺物写真撮影は、令和2年度と令和3年度の2箇年にわたり行い、2箇年とも国際文化財株式会社神戸営業所に委託し、実施した。
10. 発掘調査及び報告書の作成にあたっては、以下の方々から御教示・御指導をいただいた。記して感謝の意を表するものである。  
小畑弘己・潮崎 誠・加賀見省一・前岡孝彰・松井敬代・山根実生子・戸田真美子・先山 徹・松原典孝・榎本誠一・小寺 誠

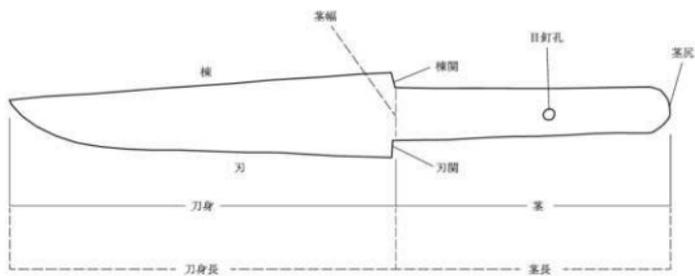
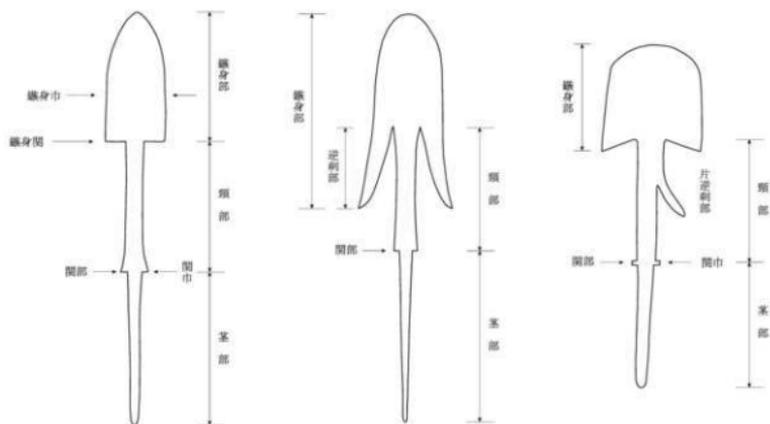
## 凡 例

1. 土器の器種名について、杯については、須恵器は全て「杯」で統一している。土師器の「坏」「杯」については、高坏については「坏」を、杯A・杯Bについては「杯」を使用している。
2. 土器の調整については、ロクロ回転を利用したナデを「回転ナデ」、ロクロ回転を利用しない横方向のナデを「横ナデ」と称して報告する。
3. 報告にあたり、以下の文献を参照した。
  - ・鉄鏃・鉄刀・刀子の名称等について  
杉山秀宏1988「古墳時代の鉄鏃について」『権原考古学研究所論集 第八』権原考古学研究所  
白杵 勲1984「古墳時代の鉄刀について」『日本古代文化研究 創刊号』PHALANX-古代文化研究会  
尾上元規2017「古墳時代中期鉄鏃の編年と地域性-中国四国地方を中心として-」『中期古墳研究の現状と課題Ⅰ-広域編年と地域編年の齟齬-』中国四国前方後円墳研究会
  - ・玉類について  
大賀克彦2009「山陰系玉類の基礎的研究」出雲玉作の特質に関する研究-古代出雲における玉作の研究Ⅲ-」鳥根県古代文化センター・鳥根県埋蔵文化財調査センター  
大阪府立近つ飛鳥博物館2021「大阪府立近つ飛鳥博物館令和3年度秋季特別展 玉からみた古墳時代」  
米田克彦2009「穿孔技術から見た出雲玉作の特質と系譜」『出雲玉作の特質に関する研究-古代出雲における玉作の研究Ⅲ-』鳥根県古代文化センター・鳥根県埋蔵文化財調査センター  
※特に玉の分類にあたっては大賀2009・大阪府立近つ飛鳥博物館2021を参考としている。
  - ・円面硯について  
杉本 宏1987「飛鳥時代初期の陶硯-宇治準上り瓦窯跡出土陶硯を中心として」『考古学雑誌』第73巻第2号
4. 鉄製品の断面は黒塗りした。鹿角製品については、鹿角部分をトーンにより表現した。
5. 飛鳥時代から奈良時代にかけての主要な器種については、奈良国立文化財研究所「平城宮発掘調査報告XVI 兵部省地区の調査」2005に準拠している。
6. 緑釉陶器の軸の色調については、以下の「緑釉陶器 軸調用 色票」を使用したものである。  
高橋照彦・中久保辰夫 2012「篠窯跡群大谷3号窯の研究」大阪大学考古学研究室篠窯調査団  
図版中の土器断面については、硬陶についてはトーン100%で、軟陶についてはトーン70%で表現している。
7. 第8図・第15図・第680図・第684図に使用した地形図は豊岡市から提供を受けたものである。また第19図・第20図に使用した工事計画図は国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所より提供を受けたものである。
8. 本書で例示した遺跡のなかで、但馬に所在する遺跡の所在地については、第二分冊末の第685図にまとめてある。参照されたい。

9. 須恵器杯の計測値は下図の通りである。



10. 鉄鏃・刀子の部分名称は以下の通りである。



# 目 次

第1章 南構遺跡	
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	5
第3節 既往の調査	14
第2章 調査の経緯	
第1節 調査の起因	16
第2節 確認調査	18
第3節 本発掘調査	20
第4節 整理作業	26
第3章 南構遺跡の調査	
第1節 概 要	28
第2節 竪穴建物	35
第3節 掘立柱建物	81
第4節 柱 穴	235
第5節 土 壌	274
第6節 木 棺 墓	301
第7節 溝	305
第8節 そ の 他	307
第9節 包含層出土土器	331
第10節 包含層出土土製品・石製品・金属製品	369
第11節 小 結	376
— 以下第二分冊 —	
第4章 南構古墳群の調査	
第1節 概 要	378
第2節 南構1号墳	381
第3節 南構2号墳	414
第4節 南構3号墳	425
第5節 南構4号墳	436
第6節 南構5号墳	441
第7節 南構6号墳	448
第8節 南構7号墳	456
第9節 南構8号墳	470
第10節 南構9号墳	477
第11節 南構10号墳	481

第12節	南構11号墳	496
第13節	小 結	502
第5章 分析・鑑定		
第1節	土師器付着物の材質分析	507
第2節	南構遺跡出土の漆塗土器の塗膜分析	513
第3節	南構遺跡出土の須恵器蓋の内面に付着する赤色顔料の分析	517
第4節	南構遺跡出土ガラス製玉の蛍光X線分析	520
第5節	南構遺跡出土管玉、切子玉石材の原石、遺物群同定	527
第6節	南構古墳群出土玉類の材質分析	554
第7節	南構古墳群の石室石材の岩石同定	559
第8節	土器付着の赤色顔料の蛍光X線分析	573
第9節	南構古墳群出土鉄製品に見られる圓錐殻について	576
第6章 遺物のまとめ		
第1節	概 要	583
第2節	土 器	584
第3節	金属製品	653
第4節	玉 類	666
第5節	土 製 品	675
第6節	石器・石製品	677
第7章 遺構のまとめ		
第1節	南構遺跡	679
第2節	南構古墳群	735
第8章 総 括		
第1節	南構遺跡と南構古墳群	765
第2節	南構遺跡と周辺遺跡	772
第3節	ま と め	781
索引		
報告書抄録		

## 卷首図版目次

- 巻首図版1  
南構遺跡と国府平野 南西上空から  
南構遺跡遠景 北東上空から
- 巻首図版2  
南構遺跡遠景 東上空から  
南構遺跡近景 東上空から
- 巻首図版3  
南構遺跡遠景 西上空から  
南構遺跡近景 西上空から
- 巻首図版4  
南構遺跡遠景 北西上空から  
南構遺跡近景 北西上空から
- 巻首図版5  
南構遺跡遠景 北東上空から  
南構遺跡近景 北東上空から
- 巻首図版6  
南構遺跡遠景 南上空から  
南構遺跡近景 北上空から
- 巻首図版7  
南構遺跡全景 俯瞰
- 巻首図版8  
PO90出土遺物 SK10出土土器
- 巻首図版9  
南構遺跡出土土馬  
南構遺跡出土和同開珙・鈔幣・土製椀
- 巻首図版10  
南構遺跡出土緑釉陶器・灰釉陶器・黒色土器  
南構遺跡出土緑釉陶器
- 巻首図版11  
南構遺跡出土緑釉陶器 (1677)
- 巻首図版12  
南構遺跡出土緑釉陶器片 (1)
- 巻首図版13  
南構遺跡出土緑釉陶器片 (2)
- 巻首図版14  
南構遺跡出土緑釉陶器片 (3)
- 巻首図版15  
南構遺跡出土緑釉陶器片 (4)
- 巻首図版16  
南構遺跡出土緑釉陶器片 (5)
- 巻首図版17  
南構遺跡出土黒色土器  
南構遺跡出土硯
- 巻首図版18  
南構1号墳全景 南から 南構1号墳出土遺物
- 巻首図版19  
南構1号墳石室内出土遺物  
南構1号墳初葬面出土遺物
- 巻首図版20  
南構1号墳前底部出土遺物  
南構2号墳出土遺物
- 巻首図版21  
南構2号墳遺物出土状況 北東から
- 巻首図版22  
南構3号墳第1石室出土遺物  
南構5号墳出土遺物
- 巻首図版23  
南構5号墳全景 南東から
- 巻首図版24  
南構6号墳出土遺物 南構7号墳出土遺物
- 巻首図版25  
南構8号墳出土遺物 南構10号墳出土遺物
- 巻首図版26  
南構11号墳遺物出土状況 南東から
- 巻首図版27  
南構11号墳出土遺物
- 巻首図版28  
南構古墳群出土玉類
- 巻首図版29  
南構2号墳出土玉類
- 巻首図版30  
南構3号墳第1石室出土玉類
- 巻首図版31  
南構6号墳出土玉類  
南構10号墳第1石室出土玉類
- 巻首図版32  
南構古墳群出土鉄鏃  
南構古墳群出土刀子

## 挿 図 目 次

<b>第 1 章</b>		第52図 SH10の検出作業……………	49
第1図 豊岡市の位置……………	iii	第53図 SH10……………	50
第2図 南構遺跡の位置……………	1	第54図 SH11……………	51
第3図 中流域の稲葉川……………	1	第55図 SH12……………	52
第4図 旧豊岡市の地理的環境……………	2	第56図 SH12土器出土位置……………	54
第5図 遺跡周辺の地質……………	2	第57図 106内面布目……………	56
第6図 稲葉川水系図……………	3	第58図 SH13検出作業……………	57
第7図 神鍋山火口……………	3	第59図 SH13……………	58
第8図 遺跡周辺の微地形……………	4	第60図 SH13 120出土位置・出土状況……………	59
第9図 遺跡周辺横断面……………	4	第61図 SH14……………	60
第10図 主要周辺遺跡(1)……………	6	第62図 SH15……………	61
第11図 主要周辺遺跡(2)……………	7	第63図 SH16……………	62
第12図 山王山2号墳……………	10	第64図 SH16土器出土位置・出土状況……………	64
第13図 岩倉3号墳石室内……………	10	第65図 SH17検出作業……………	68
第14図 但馬国分寺跡……………	12	第66図 SH17……………	68
第15図 南構遺跡の調査……………	14	第67図 SH17土器出土位置……………	69
第16図 南構遺跡全景 南上空から……………	15	第68図 SH18……………	70
<b>第 2 章</b>		第69図 SH18検出作業……………	71
第17図 兵庫県下的高速道路網……………	16	第70図 調査地南端部の調査……………	72
第18図 工事竣工後の南構遺跡 北から……………	16	第71図 SH19……………	72
第19図 工事計画と調査地……………	17	第72図 SH19 焼土検出状況……………	73
第20図 確認調査位置図……………	19	第73図 M1……………	73
第21図 年次別調査位置図……………	20	第74図 SH20の検出作業……………	74
第22図 調査前の南構遺跡 北から……………	21	第75図 SH20……………	74
第23図 現地説明会(第1次調査)……………	21	第76図 SH21……………	75
第24図 崎山・松原先生による現地指導……………	22	第77図 SH21 255出土状況……………	75
第25図 現地説明会(第2次調査)……………	22	第78図 SH21土器出土位置・出土状況……………	76
第26図 空撮前の除雪作業(第3次調査2区)……………	23	第79図 建物群……………	80
第27図 現地説明会(第3次調査)……………	23	第80図 建物群1……………	81
第28図 ボールによる写真撮影……………	23	第81図 SB01……………	82
第29図 第5次調査地区割図……………	24	第82図 SB02……………	83
第30図 電子平板使用状況……………	25	第83図 P3断面……………	84
<b>第 3 章</b>		第84図 SB03……………	84
第31図 基本土層……………	28	第85図 SB04……………	85
第32図 基本土層(南地区)……………	28	第86図 SB05……………	86
第33図 基盤層断面……………	29	第87図 SB06……………	87
第34図 基本土層(北地区)……………	29	第88図 SB07……………	88
第35図 平面図……………	30	第89図 SB08……………	89
第36図 北地区平面図……………	31	第90図 SB09……………	90
第37図 南地区平面図……………	32	第91図 建物群2の調査……………	90
第38図 南構遺跡と南構古墳群……………	33	第92図 建物群2……………	91
第39図 竪穴建物……………	34	第93図 SB10……………	92
第40図 SH01とSH02……………	35	第94図 SB11……………	93
第41図 SH01……………	36	第95図 SB12……………	93
第42図 SH01土器出土位置・出土状況……………	37	第96図 SB12-P1断面……………	94
第43図 SH02の検出作業……………	39	第97図 SB13……………	94
第44図 SH02……………	40	第98図 SB14……………	96
第45図 SH03……………	41	第99図 SB15……………	96
第46図 SH04……………	43	第100図 SB16……………	97
第47図 SH04土器出土位置……………	43	第101図 SB16-P3断面……………	98
第48図 SH05・SH06……………	45	第102図 SB17……………	98
第49図 SH07……………	46	第103図 SB18の調査……………	99
第50図 SH08……………	47	第104図 SB18……………	99
第51図 SH09……………	48	第105図 SB19……………	100

第106回	SB20	101	第163回	SB65	145
第107回	建物群 3	102	第164回	建物群 9	146
第108回	SB21	103	第165回	SB66	147
第109回	SB22	103	第166回	SB67	148
第110回	SB23	104	第167回	SB68	149
第111回	SB24	105	第168回	建物群10	149
第112回	建物群 3 (SB26～SB35) の調査	105	第169回	SB69	150
第113回	建物群 3 (SB26～SB35)	106	第170回	SB70	150
第114回	SB25	107	第171回	SB71	151
第115回	SB26	108	第172回	SB72	152
第116回	SB27	108	第173回	SB73	152
第117回	SB28	109	第174回	建物群11	153
第118回	SB29	110	第175回	SB74	153
第119回	SB30	110	第176回	SB75	154
第120回	SB31	111	第177回	SB76	155
第121回	SB32	112	第178回	建物群12の調査	155
第122回	SB33	112	第179回	建物群12	155
第123回	SB34	113	第180回	建物群12(SB77～SB81)	156
第124回	SB35	114	第181回	SB77	157
第125回	建物群 4	114	第182回	SB78	158
第126回	SB36	115	第183回	SB79	159
第127回	建物群 5	115	第184回	SB80	160
第128回	SB37	116	第185回	SB81	160
第129回	SB38	117	第186回	建物群12(SB82～SB87)	161
第130回	SB39	117	第187回	SB82	162
第131回	SB40の調査	118	第188回	SB83	163
第132回	SB40	118	第189回	SB84	163
第133回	建物群 6	119	第190回	SB85	164
第134回	SB41	120	第191回	SB86	165
第135回	SB42	120	第192回	SB87	166
第136回	SB42-P 3 断面	121	第193回	建物群13	167
第137回	SB43	122	第194回	SB88	168
第138回	建物群 7	123	第195回	SB89	169
第139回	SB44	124	第196回	SB90	170
第140回	SB45	125	第197回	SB91	171
第141回	SB46	126	第198回	SB92	172
第142回	SB47	127	第199回	建物群14	173
第143回	SB48	128	第200回	SB93	174
第144回	建物群 7 の調査	128	第201回	SB94	174
第145回	建物群 7 (SB49～SB56)	129	第202回	SB95	175
第146回	SB49	130	第203回	SB96	176
第147回	SB50	131	第204回	SB97	178
第148回	SB51	132	第205回	SB98	179
第149回	SB52	133	第206回	建物群15	180
第150回	SB53	135	第207回	SB99の調査	180
第151回	SB54	136	第208回	SB99	181
第152回	SB55	136	第209回	SB100	181
第153回	SB56	137	第210回	建物群15(SB99～SB103)	182
第154回	SB57	138	第211回	SB101	183
第155回	建物群 8	138	第212回	SB102	184
第156回	SB58	139	第213回	SB103	185
第157回	SB59	140	第214回	SB104	186
第158回	SB60	141	第215回	SB105	187
第159回	SB61	142	第216回	SB106	188
第160回	SB62	143	第217回	SB107	188
第161回	SB63	144	第218回	建物群16	189
第162回	SB64	144	第219回	SB108	190

第220回	SB109	191	位置図	256
第221回	SB110	192		
第222回	SB111	193		
第223回	SB112	194		
第224回	SB113	195		
第225回	SB114	196		
第226回	SB115	197		
第227回	SB116	198		
第228回	SB117	199		
第229回	SB118	200		
第230回	SB119	201		
第231回	建物群17	202		
第232回	SB120	203		
第233回	SB121	203		
第234回	SB122	205		
第235回	SB123	206		
第236回	SB124	207		
第237回	SB125	208		
第238回	建物群18	209		
第239回	SB126	209		
第240回	SB127	210		
第241回	SB128	211		
第242回	SB129	212		
第243回	SB130	213		
第244回	SB131	213		
第245回	建物群19の調査	214		
第246回	建物群19	214		
第247回	SB132	215		
第248回	SB133	216		
第249回	SB134	217		
第250回	SB135	218		
第251回	SB136	219		
第252回	SB137	220		
第253回	SB138の調査	221		
第254回	SB138	222		
第255回	建物群20	223		
第256回	SB139	224		
第257回	SB140	225		
第258回	SB141	226		
第259回	SB142・SB143	227		
第260回	SB142	228		
第261回	SB143	229		
第262回	柱穴位置図	234		
第263回	P001～P007位置図	235		
第264回	P008～P018位置図	237		
第265回	P012	238		
第266回	P019～P038位置図	240		
第267回	P040～P059位置図	244		
第268回	P063	249		
第269回	P062～P074位置図	250		
第270回	P075・P084・P086～P088位置図	253		
第271回	429出土状況	255		
第272回	431内面布目	256		
第273回	P089～P092・P095～P098・P104			
第274回	P090遺物出土位置	257		
第275回	P091	257		
第276回	439出土状況	258		
第277回	P102	260		
第278回	448出土状況	261		
第279回	P093・P094・P099～P103・P105～P108		位置図	261
第280回	P107 M 6 出土状況	262		
第281回	P109～P113位置図	263		
第282回	P114～P128位置図	264		
第283回	459出土状況	265		
第284回	P115	265		
第285回	487 坏部接合痕	268		
第286回	P129～P131位置図	269		
第287回	P132～P134位置図	270		
第288回	P135～P140位置図	271		
第289回	土壌位置図	273		
第290回	SK01・SK02位置図	274		
第291回	SK01	275		
第292回	SK03～SK08位置図	276		
第293回	SK08	278		
第294回	SK09～SK13・SK16位置図	279		
第295回	SK09の検出	279		
第296回	SK09	280		
第297回	521内面拓影	280		
第298回	521内面	280		
第299回	SK10	281		
第300回	SK12	282		
第301回	SK13	282		
第302回	SK14・SK15位置図	283		
第303回	SK17～SK23位置図	285		
第304回	SK24～SK26位置図	287		
第305回	SK27・SK28・SK33・SK34位置図	288		
第306回	SK29～SK32位置図	290		
第307回	SK31	291		
第308回	SK35・SK36位置図	292		
第309回	SK37・SK38・SK43位置図	293		
第310回	SK39～SK42・SK44～SK47位置図	294		
第311回	SK42	295		
第312回	SK42 土器出土位置	296		
第313回	水棺墓位置図	300		
第314回	SX01	301		
第315回	SX02	302		
第316回	SX03	302		
第317回	SX04	303		
第318回	溝	304		
第319回	SD01横断面	305		
第320回	遺物出土地点	306		
第321回	No.1地点～No.21地点位置図	307		
第322回	No.03地点土器出土状況	308		
第323回	609内面拓影	309		
第324回	No.17地点土器出土状況	311		
第325回	No.22地点～No.31地点・No.33地点位置図	313		

第326回	No.33地点土器出土状況	315
第327回	No.34地点～No.41地点位置図	316
第328回	660内面充墳痕	316
第329回	No.35地点土器出土状況	316
第330回	No.42地点～No.44地点位置図	318
第331回	No.45地点～No.52地点位置図	319
第332回	676底部拓影	320
第333回	No.53地点～No.59地点位置図	322
第334回	No.60地点～No.62地点・No.73地点 ・No.74地点位置図	323
第335回	No.63地点～No.69地点位置図	324
第336回	No.70地点～No.72地点位置図	325
第337回	S51出土状況	327
第338回	No.74地点土器出土状況	327

第339回	No.77地点720～722出土状況	328
第340回	No.75地点～No.81地点位置図	329
第341回	1044 底部内面	344
第342回	1208内面当て具痕	348
第343回	1252内面当て具痕	350
第344回	1262内面当て具痕	351
第345回	1713底部	353
第346回	1719底部	354
第347回	1812内面	355
第348回	1819内面	355
第349回	1698除刻花文実測図	367
第350回	1698除刻花文	367
第351回	子持勾玉の名称	372
第352回	M59X線透過写真	375

#### 南構古墳群 (第二分冊)

#### 第4章

第353回	南構古墳群	378
第354回	南構古墳群俯瞰	379
第355回	南構1号墳	380
第356回	南構1号墳の調査	381
第357回	東側外護列石平面図	382
第358回	東側外護列石立面図	383
第359回	列石実測作業	383
第360回	西側外護列石平面図・立面図	384
第361回	北東側外護列石平面図・立面図	385
第362回	初葬面平面図	386
第363回	初葬面横断面	387
第364回	追葬面横断面	387
第365回	第1次追葬面平面図	388
第366回	第2次追葬面平面図	389
第367回	礎床の石材	390
第368回	石室の復元	390
第369回	床面の検出作業	391
第370回	初葬面遺物出土位置図	392
第371回	初葬面遺物出土状況図	393
第372回	第1次追葬面遺物出土状況図	396
第373回	第2次追葬面遺物出土状況図	398
第374回	M104X線透過写真	399
第375回	南構1号墳南側遺物出土位置	400
第376回	2042内面拓影	400
第377回	南構1号墳南側遺物出土位置	401
第378回	土器群1	402
第379回	土器群2と耳環出土位置	403
第380回	土器群3	404
第381回	2050外面	405
第382回	2050内面拓影	405
第383回	2067頭部内面	407
第384回	2072刻目	407
第385回	裝飾付須臾器出土位置図	408
第386回	2079復元図	408
第387回	土器群4	409
第388回	2084口縁部外面	410
第389回	南構1号墳南側 金属製品出土位置	411
第390回	南構2号墳	414
第391回	石材の取り上げ作業	415

第392回	石室平面図(初葬面)・立面図	416
第393回	石室平面図(追葬面)・立面図	417
第394回	2097内面当て具痕	418
第395回	初葬面遺物出土位置	420
第396回	追葬面遺物出土位置	421
第397回	南構2号墳出土丸玉の規模	422
第398回	石室構築過程の復元	424
第399回	南構3号墳の調査	425
第400回	南構3号墳	425
第401回	第1石室と第2石室	426
第402回	第1石室平面図(初葬面)・立面図	428
第403回	第1石室平面図(追葬面)・立面図	429
第404回	第1石室追葬面遺物出土状況	430
第405回	2119 内面当て具痕	431
第406回	2128 内面当て具痕	431
第407回	南構3号墳出土丸玉・小玉	432
第408回	第2石室平面図・立面図	434
第409回	第2石室検出作業	435
第410回	南構4号墳	436
第411回	石室平面図・立面図	437
第412回	礎床平面図・断面図	438
第413回	土器出土位置図	439
第414回	J150	440
第415回	石室内の調査	441
第416回	南構5号墳	441
第417回	南構5号墳 石室平面図・立面図	442
第418回	礎床と側壁	443
第419回	礎床の検出作業	443
第420回	南構5号墳 礎床	444
第421回	M157 銀鍍アップ	445
第422回	石室内土器出土位置図	446
第423回	南構6号墳	448
第424回	南構6号墳 石室平面(初葬面)・立面図	450
第425回	南構6号墳 石室平面(追葬面)・立面図	451
第426回	追葬面遺物出土位置図	452
第427回	南構6号墳出土丸玉	453
第428回	J159下面	453
第429回	M167蓋	454
第430回	M161 牙部圓筒	455
第431回	M177布目	455

第432回	南溝7号墳	456	第487回	M219布目	499
第433回	南溝7号墳平面図・立面図	458	第488回	南溝11号墳 遺物出土位置	500
第434回	玄門部平面図・立面図	459	第489回	石室の主軸方向	503
第435回	2200・2201出土状況	460	第490回	南溝古墳群出土装飾類	506
第436回	2166内面	460	第5章		
第437回	2166内面拓影	460	第491回	黒色付着物の赤外線吸収スペクトル図(1)	509
第438回	初葬面遺物出土状況	461	第492回	黒色付着物の赤外線吸収スペクトル図(2)	510
第439回	2187内面	462	第493回	土師器と付着物(1)	511
第440回	2187内面拓影	462	第494回	土師器と付着物(2)	512
第441回	上層面遺物出土状況	463	第495回	黒色塗膜の赤外線吸収スペクトル	515
第442回	2167内面拓影	465	第496回	漆塗土器の試料採取位置	516
第443回	2164内面	465	第497回	赤色顔料分析	518
第444回	2164内面拓影	465	第498回	赤色顔料の蛍光X線分析結果	519
第445回	2194接合面	466	第499回	ガラス玉の実体顕微鏡写真(1)	525
第446回	M187布目	467	第500回	ガラス玉の実体顕微鏡写真(2)	526
第447回	M187織の復元	467	第501回	浦項碧玉、浦項緑色凝灰岩、 花仙山碧玉の蛍光X線スペクトル	528
第448回	石室の実測	469	第502回	古墳(統純文)時代の碧玉製管玉の 原材使用分布圏および碧玉・碧玉椀の原産地	529
第449回	南溝8号墳埋没状況	470	第503回	南溝遺跡出土管玉-J5番(131022) の蛍光X線スペクトル	532
第450回	南溝8号墳	470	第504回	南溝遺跡出土管玉-J154番(131023) の蛍光X線スペクトル	532
第451回	南溝8号墳 石室平面図・立面図	471	第505回	南溝遺跡出土切子玉-J263番(131024) の蛍光X線スペクトル	532
第452回	南溝8号墳礎床	472	第506回	碧玉原石のESRスペクトル	534
第453回	石室の調査	473	第507回	碧玉原石の信号(Ⅲ)のESRスペクトル	535
第454回	遺物出土位置	474	第508回	碧玉原石の信号(Ⅲ)のESRスペクトル	536
第455回	M201関部	474	第509回	碧玉原石の信号(Ⅲ)のESRスペクトル	537
第456回	M193圓桶殻	475	第510回	碧玉原石の信号(Ⅲ)のESRスペクトル	538
第457回	M198圓桶殻	475	第511回	南溝遺跡出土管玉のESR信号(Ⅲ) のスペクトル	538
第458回	M198茎	475	第512回	検討した玉類(1)	557
第459回	M200圓桶殻	476	第513回	検討した玉類(2)	558
第460回	南溝9号墳	477	第514回	石材試料と薄片の偏光顕微鏡写真(1)	564
第461回	南溝9号墳 墳丘埋没状況	478	第515回	石材試料と薄片の偏光顕微鏡写真(2)	565
第462回	南溝9号墳 石室平面図・立面図	479	第516回	石材試料と薄片の偏光顕微鏡写真(3)	566
第463回	南溝9号墳 礎床と基底石	480	第517回	石材試料と薄片の偏光顕微鏡写真(4)	567
第464回	南溝10号墳	481	第518回	石材試料と薄片の偏光顕微鏡写真(5)	568
第465回	南溝10号墳 平面図	482	第519回	岩石のX線回析スペクトル図(1)	569
第466回	南溝10号墳 第1石室平面図・立面図	483	第520回	岩石のX線回析スペクトル図(2)	570
第467回	南溝10号墳 第1石室実測作業	484	第521回	岩石のX線回析スペクトル図(3)	571
第468回	南溝10号墳第1石室初葬面遺物出土位置	485	第522回	遺跡とその周辺の地質図	572
第469回	M206頭部	486	第523回	赤色顔料スペクトル図(1)	574
第470回	M209茎	487	第524回	赤色顔料スペクトル図(2)	575
第471回	M215茎	488	第525回	赤色顔料分析試料	575
第472回	J232割れ円鏝	488	第526回	M161圓桶殻	577
第473回	南溝10号墳第1石室出土 丸玉・小玉の規模	489	第527回	M177圓桶殻	578
第474回	南溝10号墳第1石室追葬面遺物出土位置	490	第528回	M184圓桶殻	578
第475回	南溝10号墳 第2石室平面図・立面図	491	第529回	M182圓桶殻	579
第476回	南溝10号墳 第2石室遺物出土位置	492	第530回	M193圓桶殻	580
第477回	南溝10号墳 第3石室平面図・立面図	493	第531回	M198圓桶殻	581
第478回	南溝10号墳 第3石室遺物出土位置	494	第532回	M200圓桶殻	581
第479回	南溝10号墳 第3石室出土遺物	494			
第480回	南溝10号墳 南側遺物出土位置	495			
第481回	南溝11号墳	496			
第482回	南溝11号墳 平面図・立面図	497			
第483回	南溝11号墳 石材取りあげ作業	498			
第484回	南溝11号墳出土遺物	498			
第485回	2245内面	499			
第486回	2245内面拓影	499			

## 第6章

第533回	弥生土器の分類	585	第578回	南構Ⅳ期・Ⅴ期の土器(土師器)	638
第534回	土師器壺の分類	587	第579回	南構Ⅳ期・Ⅴ期の土器(土師器・須恵器)	639
第535回	土師器甕の分類(1)	589	第580回	南構Ⅴ期の土器(土師器)	640
第536回	土師器甕の分類(2)	590	第581回	南構Ⅵ期の土器(須恵器)	641
第537回	土師器杯の分類	592	第582回	南構Ⅶ期の土器(土師器)	642
第538回	土師器鉢の分類	593	第583回	南構Ⅶ期の土器(須恵器)	643
第539回	土師器高坏の分類	594	第584回	南構Ⅶ期・Ⅷ期の土器 (土師器・黒色土器・緑軸陶器)	644
第540回	杯蓋の分類(1)	597	第585回	南構Ⅶ期・Ⅷ期の土器(須恵器)	645
第541回	杯蓋の分類(2)	598	第586回	鐵身の分類	654
第542回	杯蓋の分類(3)	599	第587回	出土地別出土鉄鍬(1)	655
第543回	杯の分類(1)	602	第588回	出土地別出土鉄鍬(2)	656
第544回	杯の分類(2)	603	第589回	出土鉄鍬	657
第545回	杯の分類(3)	604	第590回	刀子 関の分類	659
第546回	杯の分類(4)	605	第591回	出土地点別刀子(1)	660
第547回	杯の分類(5)	606	第592回	出土地点別刀子(2)	661
第548回	須恵器 高杯の分類	608	第593回	出土地点別馬具類	663
第549回	須恵器 脚部の分類	609	第594回	丸玉と小玉の規模	666
第550回	須恵器 甕の分類	611	第595回	ガラス製丸玉と小玉の規模	667
第551回	須恵器 壺蓋・壺類の分類	612	第596回	土製丸玉の規模	667
第552回	須恵器 甕の分類	613	第597回	勾玉に認められる割れ円錐	668
第553回	土師器 杯類の分類	615	第598回	水晶製切子玉に認められる割れ円錐	670
第554回	土師器 杯Adの法量分布	616	第599回	地点別出土玉類(1)	672
第555回	土師器 杯Afの法量分布	616	第600回	地点別出土玉類(2)	673
第556回	土師器 碗の分類	617			
第557回	土師器 碗Aの法量	617	第7章		
第558回	土師器 碗Aaの法量	618	第601回	堅穴建物の変遷	682
第559回	土師器 碗Adの法量	618	第602回	南構Ⅵ-1期掘立柱建物 a群	688
第560回	土師器 皿類の分類	618	第603回	南構Ⅵ期掘立柱建物 b群~e群	689
第561回	土師器 鍋の分類	619	第604回	b群建物棟軸方向	690
第562回	須恵器 杯A・碗Aの法量	620	第605回	c群建物棟軸方向	690
第563回	須恵器 杯Aの法量分布(1)	621	第606回	d群建物棟軸方向	690
第564回	須恵器 杯Aの法量分布(2)	622	第607回	e群建物棟軸方向	690
第565回	須恵器 杯Aの分類	623	第608回	南構Ⅵ-1期掘立柱建物 f群	691
第566回	須恵器 杯B蓋の分類	623	第609回	南構Ⅵ-2期掘立柱建物 g群	692
第567回	須恵器 杯B・杯C	624	第610回	g群建物棟軸方向	693
第568回	須恵器 皿の分類	625	第611回	h群建物棟軸方向	693
第569回	須恵器 碗の分類	626	第612回	i群建物棟軸方向	693
第570回	須恵器 壺類の分類	627	第613回	南構Ⅵ-2期掘立柱建物 h群	694
第571回	緑軸陶器の分類(碗:硬陶)	628	第614回	南構Ⅵ-2期掘立柱建物 i群	695
第572回	緑軸陶器の分類(碗:軟陶)	629	第615回	南構Ⅵ-2期掘立柱建物 j群	696
第573回	緑軸陶器の分類(皿:硬陶)	630	第616回	j群建物棟軸方向	697
第574回	緑軸陶器の分類(皿:軟陶)	631	第617回	k群建物棟軸方向	697
第575回	黒色土器の分類	634	第618回	l群建物棟軸方向	697
第576回	南構Ⅰ期の土器	635	第619回	南構Ⅵ-2期掘立柱建物 k群	698
第577回	南構Ⅱ期・Ⅲ期の土器	636	第620回	南構Ⅵ-2期掘立柱建物 l群	699

第621回	南構Ⅴ-1期掘立柱建物 o群	700	第655回	南構6号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	739
第622回	o群建物棟軸方向	701	第656回	南構7号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	740
第623回	p群建物棟軸方向	701	第657回	南構8号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	741
第624回	南構Ⅴ-1期掘立柱建物 p群	702	第658回	南構10号墳第1石室出土 杯蓋・杯の口径・受部径	742
第625回	南構Ⅴ-1期掘立柱建物 q群	703	第659回	南構11号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	742
第626回	南構Ⅴ-1期掘立柱建物 r群	704	第660回	副葬土器の変遷(1-1)	744
第627回	s群建物棟軸方向	705	第661回	副葬土器の変遷(1-2)	745
第628回	t群建物棟軸方向	705	第662回	副葬土器の変遷(2-1)	746
第629回	x群建物棟軸方向	705	第663回	副葬土器の変遷(2-2)	747
第630回	南構Ⅴ-2期掘立柱建物 s群	706	第664回	副葬土器の変遷(3-1)	748
第631回	南構Ⅴ-2期掘立柱建物 t群	707	第665回	副葬土器の変遷(3-2)	749
第632回	南構Ⅴ-2期掘立柱建物 u群・v群	708	第666回	副葬土器の変遷(4-1)	750
第633回	南構Ⅴ-2期掘立柱建物 x群	709	第667回	副葬土器の変遷(4-2)	751
第634回	南構Ⅵ期掘立柱建物 y群	710	第668回	古墳群の変遷(古墳群1期)	752
第635回	y群建物棟軸方向	711	第669回	古墳群の変遷(古墳群2期・3期)	753
第636回	縄文土器・石製品出土位置	717	第670回	古墳群の変遷(古墳群4期)	754
第637回	南構Ⅱ期の遺構	719	第671回	石室の変遷(1)	756
第638回	南構Ⅲ期の遺構	720	第672回	石室の変遷(2)	757
第639回	南構Ⅳ期の遺構	721	第673回	石室の変遷(3)	758
第640回	南構Ⅴ期の遺構	722	第674回	石室の変遷(4)	759
第641回	南構Ⅵ期の遺構	723	第675回	時期別石室主軸方向	760
第642回	南構Ⅵ-1期の遺構	725	第8章		
第643回	南構Ⅵ-2期の遺構	727	第676回	南構Ⅴ-1期の古墳と集落	766
第644回	南構Ⅵ-1期の遺構	729	第677回	南構Ⅴ-2期の古墳と集落	767
第645回	南構Ⅵ-2期の遺構	730	第678回	南構Ⅵ-1期の古墳と集落	769
第646回	南構Ⅶ期の遺構	731	第679回	南構Ⅵ-2期の古墳と集落	770
第647回	南構Ⅷ期の遺構	732	第680回	南構遺跡と 但馬国分寺跡・第2次但馬国府跡	772
第648回	南構Ⅸ期の遺構	733	第681回	硯・土馬・櫓出土地区	774
第649回	杯蓋の法量分布と天井部調整	735	第682回	緑軸陶器出土地区	776
第650回	杯の法量分布と底部調整	736	第683回	灯火器出土地区	777
第651回	南構1号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	737	第684回	但馬国府・但馬国分寺周辺の遺跡	782
第652回	南構2号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	737	第685回	本書掲載遺跡(但馬)	784・785
第653回	南構3号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	738			
第654回	南構5号墳出土杯蓋・杯の口径・受部径	739			

## 表 目 次

第1表	主要周辺遺跡(1)	8	第10表	古墳一覧表	504・505
第2表	主要周辺遺跡(2)	9	第11表	南構遺跡出土土師器と付着物の特徴	507
第3表	本発掘調査一覧	21	第12表	生漆の赤外線吸収位置とその強度	507
第4表	堅穴建物一覧	78・79	第13表	分析対象一覧	513
第5表	掘立柱建物跡一覧(1)	230	第14表	生漆の赤外線吸収位置とその強度	513
第6表	掘立柱建物跡一覧(2)	231	第15表	X線分析結果	514
第7表	掘立柱建物跡一覧(3)	232	第16表	蛍光分析結果	514
第8表	掘立柱建物跡一覧(4)	233	第17表	分析対象一覧	520
第9表	P121出土土師器一覧表	267	第18表	半定量分析結果	521

第19表	南構遺跡出土管玉、切子玉 の元素分析結果 ……531	第30表	蛍光X線分析による化学組成 ……555
第20表	南構遺跡出土管玉、切子玉の原石群、 産地群同定結果 ……533	第31表	古墳内から出土した石材と詳細 ……559
第21表	各碧玉の原産地における原石群の 元素比の平均値と標準偏差値 ……540-541	第32表	岩石の偏光顕微鏡観察 ・X線回折分析による特徴と岩石 ……560
第22表	各原石産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群 の元素比の平均値と標準偏差値(1) ……542-543	第33表	玄武岩の蛍光X線分析結果 ……561
第23表	各原石産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群 の元素比の平均値と標準偏差値(2) ……544-545	第34表	分析対象一覧 ……573
第24表	各原石産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群 の元素比の平均値と標準偏差値(3) ……546-547	第35表	開蝕殻付着鉄製品 ……576
第25表	各原石産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群 の元素比の平均値と標準偏差値(4) ……548-549	第36表	杯計測表 ……601
第26表	各原石産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群 の元素比の平均値と標準偏差値(5) ……550-551	第37表	出土緑釉陶器一覧(1) ……631
第27表	各原石産地不明碧玉玉類、玉材の遺物群 の元素比の平均値と標準偏差値(6) ……552-553	第38表	出土緑釉陶器一覧(2) ……632
第28表	分析した石製玉類と詳細 ……554	第39表	主要鉄鍍計測値 ……657
第29表	石製玉類の肉眼観察および化学組成の特徴 ……………554	第40表	主要刀子一覧 ……658
		第41表	出土管玉一覧 ……669
		第42表	建物の変遷 ……687
		第43表	遺構の変遷 ……712-713
		第44表	Ⅶ-2期の建物群と遺構群 ……726
		第45表	古墳群の埋葬時期 ……743
		第46表	南構遺跡と南構古墳群 ……765
		第47表	南構遺跡と 但馬国分寺跡・第2次但馬国府跡 ……773

## 図 版 目 次

### 南構遺跡

図版 1	南構遺跡 SH01出土土器(1~17)	SH14出土土器(123~133)
図版 2	南構遺跡 SH01出土土器(18~22) SH02出土土器(23~26) SH03出土土器(27~31) SH04出土土器(32~36) SH05出土土器(37) SH09出土土器(38~44)	図版 6 南構遺跡 SH15出土土器(134~138) SH16出土土器(139~153)
図版 3	南構遺跡 SH09出土土器(45~49) SH10出土土器・土製品(50~54) SH11出土土器(55~56) SH12出土土器(57~72)	図版 7 南構遺跡 SH16出土土器(154~181)
図版 4	南構遺跡 SH12出土土器(73~97)	図版 8 南構遺跡 SH16出土土器(182~224)
図版 5	南構遺跡 SH12出土土器・土製品(98~118) SH13出土土器(119~122)	図版 9 南構遺跡 SH17出土土器(225~233) SH18出土土器(234~241) SH19出土土器・土製品(242~247) SH20出土土器(248~251)
		図版 10 南構遺跡 SH21出土土器(252~258) SH21出土土器製品(259)
		図版 11 南構遺跡 SB03出土土器(260~262) SB05出土土器(263) SB08出土土器(264~266) SB13出土土器(267)

SB17出土土器(268) SB19出土土器(269)  
SB20出土土器(270·271) SB24出土土器(272)  
SB32出土土器(273) SB38出土土器(274)  
SB39出土土器(275) SB42出土土器(276·277)  
SB44出土土器(278-280) SB45出土土器(281)  
SB46出土土器(282) SB48出土土器(283)  
SB49出土土器(284) SB50出土土器(285·286)  
SB51出土土器(287·288)  
SB52出土土器(289-292)  
SB53出土土器(293·294)  
SB65出土土器(295) SB66出土土器(296)

國版12 南溝遺跡

SB77出土土器(297·298) SB86出土土器(299)  
SB87出土土器(300-302) SB89出土土器(303)  
SB92出土土器(304-306)  
SB95出土土器(307·308)  
SB96出土土器(309) SB106出土土器(310)  
SB108出土土器(311·312)  
SB110出土土器(313) SB115出土土器(314·315)  
SB116出土土器(316·317)  
SB119出土土器(318)  
SB121出土土器(319-321)  
SB124出土土器(322)  
SB125出土土器(323) SB129出土土器(324)  
SB135出土土器(325-327)  
SB136出土土器(328)  
SB137出土土器(329-331)

國版13 南溝遺跡

P001出土土器(332) P002出土土器(333)  
P003出土土器(334) P004出土土器(335)  
P005出土土器(336) P006出土土器(337)  
P007出土土器(338) P008出土土器(339)  
P009出土土器(340) P010出土土器(341)  
P011出土土器(342) P012出土土器(343)  
P013出土土器(344) P014出土土器(345)  
P015出土土器(346) P016出土土器(347)  
P017出土土器(348) P018出土土器(349)  
P020出土土器(350) P021出土土器(351·352)  
P022出土土器(353) P023出土土器(354·355)  
P024出土土器(356) P025出土土器(357)  
P026出土土器(358) P027出土土器(359)  
P028出土土器(360) P029出土土器(361)  
P030出土土器(362) P031出土土器(363)  
P032出土土器(364) P033出土土器(365)  
P034出土土器(366) P035出土土器(367)

國版14 南溝遺跡

P036出土土器(368) P037出土土器(369)  
P038出土土器(370·371)  
P039出土土器(372·375)  
P040出土土器(373) P041出土土器(374)  
P042出土土器(376) P043出土土器(377)  
P044出土土器(378·379)  
P044出土土器(380·381)  
P045出土土器(382) P046出土土器(383)  
P047出土土器(384) P048出土土器(385)  
P049出土土器(386·387) P050出土土器(388)  
P051出土土器(389·390) P052出土土器(391)  
P053出土土器(392) P054出土土器(393·394)  
P055出土土器(395·396) P055出土土器(397)  
P056出土土器(398) P057出土土器(399)  
P058出土土器(400) P059出土土器(401)  
P060出土土器(402) P061出土土器(403)  
P062出土土器(404)

國版15 南溝遺跡

P063出土土器(405·406)  
P064出土土器(407) P066出土土器(408)  
P067出土土器(409) P068出土土器(410)  
P069出土土器(411) P070出土土器(412)  
P071出土土器(413) P072出土土器(414)  
P073出土土器(415) P075出土土器(416·417)  
P076出土土器(418) P077出土土器(419)  
P078出土土器(420) P079出土土器(421)  
P080出土土器(422) P081出土土器(423)  
P082出土土器(424) P083出土土器(425·426)  
P084出土土器(427) P085出土土器(428)  
P086出土土器(429) P087出土土器(430)  
P088出土土器(431·432) P089出土土器(433)  
P090出土土器(434·435) P091出土土器(436)  
P092出土土器(437) P094出土土器(438)  
P095出土土器(439) P096出土土器(440)

國版16 南溝遺跡

P097出土土器(441) P098出土土器(442)  
P099出土土器(443) P100出土土器(444)  
P101出土土器(445) P102出土土器(446)  
P104出土土器(447) P105出土土器(448)  
P106出土土器(449) P108出土土器(450)  
P109出土土器(451·452) P110出土土器(453)  
P111出土土器(454) P112出土土器(455·456)  
P113出土土器(457) P114出土土器(458)  
P115出土土器(459) P116出土土器(460)

- P117出土土器(461) P118出土土製品(462)  
 P119出土土器(463) P120出土土器(464)  
 P121出土土器(465·466)  
 P121出土土製品(467~473)
- 図版17 南溝遺跡  
 P121出土土製品(474~484)  
 P122出土土器(485) P123出土土器(486)  
 P124出土土器(487) P125出土土器(488)  
 P126出土土器(489) P127出土土器(490)  
 P128出土土器(491) P129出土土器(492)  
 P130出土土器(493) P131出土土器(494)  
 P132出土土器(495) P133出土土器(496)  
 P134出土土器(497) P135出土土器(498)  
 P136出土土器(499·500)  
 P137出土土器(501) P138出土土器(502)  
 P139出土土器(503) P140出土土器(504)  
 P141出土土器(505)
- 図版18 南溝遺跡  
 SK01出土土器(506·507) SK02出土土器(508)  
 SK03出土土器(509) SK04出土土器(510·511)  
 SK05出土土器(512) SK06出土土器(513·514)  
 SK07出土土器(515·516)  
 SK08出土土器(517~520) SK09出土土器(521)
- 図版19 南溝遺跡  
 SK10出土土器(522~535) SK11出土土器(536)  
 SK12出土土器(537·538)  
 SK12出土土製品(539)  
 SK13出土土器(540·541) SK14出土土器(542)  
 SK15出土土器(543) SK17出土土器(544)  
 SK18出土土器(545) SK19出土土器(546)  
 SK20出土土器(547) SK21出土土器(548·549)  
 SK22出土土器(550) SK23出土土器(551)  
 SK24出土土器(552) SK25出土土器(553)  
 SK26出土土器(554) SK28出土土器(555)  
 SK29出土土器(556·557) SK30出土土器(558)
- 図版20 南溝遺跡  
 SK31出土土器(559·560) SK32出土土器(561)  
 SK34出土土器(562) SK35出土土器(563)  
 SK37出土土器(564) SK38出土土器(565)  
 SK39出土土器(566) SK40出土土器(567·568)  
 SK42出土土器(569~577)
- 図版21 南溝遺跡  
 SK42出土土器(578~598)
- 図版22 南溝遺跡  
 SK42出土土器(599) SK43出土土器(600)
- SK44出土土器(601) SK45出土土器(602)  
 SK46出土土器(603) SK47出土土器(604)  
 SD01出土土器(605) SD02出土土器(606·607)  
 SX04出土土器(608) No03地点出土土器(609)
- 図版23 南溝遺跡  
 No03地点出土土器(610) No01地点出土土器(611)  
 No02地点出土土器(612) No04地点出土土器(613)  
 No05地点出土土器(614) No06地点出土土器(615)  
 No07地点出土土器(616) No08地点出土土器(617)  
 No09地点出土土器(618) No10地点出土土器(619)  
 No11地点出土土器(620) No12地点出土土器(621)  
 No13地点出土土器(622) No14地点出土土器(623)  
 No15地点出土土器(624) No16地点出土土器(625)  
 No17地点出土土器(626·627)  
 No18地点出土土製品(628)
- 図版24 南溝遺跡  
 No19地点出土土器(629·630)  
 No20地点出土土器(631) No21地点出土土器(632)  
 No22地点出土土器(633) No23地点出土土器(634)  
 No24地点出土土器(635) No25地点出土土器(636)  
 No26地点出土土器(637) No27地点出土土器(638)  
 No28地点出土土器(639) No29地点出土土器(640)  
 No30地点出土土器(641·642)  
 No31地点出土土器(643)  
 No32地点出土土器(644~650)  
 No32地点出土土製品(651·652)  
 No33地点出土土器(653~657)  
 No33地点出土土製品(658)
- 図版25 南溝遺跡  
 No33地点出土土器(659)  
 No34地点出土土器(660·661)  
 No35地点出土土器(662~666)  
 No36地点出土土器(667) No37地点出土土器(668)  
 No38地点出土土器(669) No39地点出土土器(670)  
 No40地点出土土器(671) No41地点出土土器(672)  
 No43地点出土土器(673)
- 図版26 南溝遺跡  
 No44地点出土土器(674) No45地点出土土器(675)  
 No46地点出土土器(676·677)  
 No47地点出土土器(678) No48地点出土土器(679)  
 No49地点出土土器(680·681)  
 No50地点出土土器(682·683)  
 No52地点出土土器(684) No53地点出土土器(685)  
 No54地点出土土器(686·687)  
 No55地点出土土器(688) No57地点出土土器(689)

- No58地点出土土器(690) No59地点出土土器(691)  
 No60地点出土土器(692) No61地点出土土器(694)  
 No68地点出土土器(693·695)
- 图版27 南溝遺跡  
 No63地点出土土器(696~702)  
 No64地点出土土器(703) No65地点出土土器(704)  
 No66地点出土土器(705) No67地点出土土器(706)  
 No68地点出土土器(707)  
 No69地点出土土器(708~710)  
 No70地点出土土器(711)  
 No73地点出土土器(712~715)  
 No74地点出土土器(716) No75地点出土土器(717)  
 No76地点出土土器(718·719)  
 No77地点出土土器(720~722)
- 图版28 南溝遺跡  
 No78地点出土土器(723~728)  
 No79地点出土土器(729)  
 No80地点出土土器(730~736)
- 图版29 南溝遺跡  
 No80地点出土土器(737·738)  
 No81地点出土土器(739~741)
- 图版30 南溝遺跡  
 包含層出土土器(1)(742~770)
- 图版31 南溝遺跡  
 包含層出土土器(2)(771~797)
- 图版32 南溝遺跡  
 包含層出土土器(3)(816~838)
- 图版33 南溝遺跡  
 包含層出土土器(4)(839~867)
- 图版34 南溝遺跡  
 包含層出土土器(5)(868~888)
- 图版35 南溝遺跡  
 包含層出土土器(6)(889~912)
- 图版36 南溝遺跡  
 包含層出土土器(7)(913~935)
- 图版37 南溝遺跡  
 包含層出土土器(8)(936~951)
- 图版38 南溝遺跡  
 包含層出土土器(9)(952~982)
- 图版39 南溝遺跡  
 包含層出土土器(10)(983~1007)
- 图版40 南溝遺跡  
 包含層出土土器(11)(1008~1032)
- 图版41 南溝遺跡  
 包含層出土土器(12)(1033~1055)
- 图版42 南溝遺跡  
 包含層出土土器(13)(1056~1062)
- 图版43 南溝遺跡  
 包含層出土土器(14)(1063~1069)
- 图版44 南溝遺跡  
 包含層出土土器(15)(1070~1080)
- 图版45 南溝遺跡  
 包含層出土土器(16)(1081~1103)
- 图版46 南溝遺跡  
 包含層出土土器(17)(1104~1148)
- 图版47 南溝遺跡  
 包含層出土土器(18)(1149~1189)
- 图版48 南溝遺跡  
 包含層出土土器(19)(1190~1217)
- 图版49 南溝遺跡  
 包含層出土土器(20)(1218~1249)
- 图版50 南溝遺跡  
 包含層出土土器(21)(1250~1261)
- 图版51 南溝遺跡  
 包含層出土土器(22)(1262~1283)
- 图版52 南溝遺跡  
 包含層出土土器(23)(1284~1309)
- 图版53 南溝遺跡  
 包含層出土土器(24)(1310~1358)
- 图版54 南溝遺跡  
 包含層出土土器(25)(1359~1406)
- 图版55 南溝遺跡  
 包含層出土土器(26)(1407~1445)
- 图版56 南溝遺跡  
 包含層出土土器(27)(1446~1485)
- 图版57 南溝遺跡  
 包含層出土土器(28)(1486~1532)
- 图版58 南溝遺跡  
 包含層出土土器(29)(1533~1590)
- 图版59 南溝遺跡  
 包含層出土土器(30)(1591~1637)
- 图版60 南溝遺跡  
 包含層出土土器(31)(1638~1699)
- 图版61 南溝遺跡  
 包含層出土土器(32)(1700~1746)
- 图版62 南溝遺跡  
 包含層出土土器(33)(1747~1804)
- 图版63 南溝遺跡  
 包含層出土土器(34)(1805~1848)

- 図版64 南溝遺跡  
包含層出土土器(35)(1849~1877)
- 図版65 南溝遺跡  
包含層出土土器(36)(1878~1885)
- 図版66 南溝遺跡  
包含層出土土製品(1946~1953)  
包含層出土土製品 土鍾(1)(1955~1968)
- 図版67 南溝遺跡  
包含層出土土製品 土鍾(2)(1969~2017)
- 図版68 南溝遺跡  
包含層出土土製品 土鍾(3)(2018~2021)  
包含層出土瓦(2022) 羽口(2023・2024)
- 図版69 南溝遺跡  
SH19出土金属製品(M1)  
P090出土金属製品(M2)  
P107出土金属製品(M3・M4)  
包含層出土金属製品(M7~M18)
- 図版70 南溝遺跡  
P103出土金属製品(M21)  
SK01出土金属製品(M35)  
P074出土金属製品(M37)  
P065出土金属製品(M39)  
SK12出土金属製品(M45)  
包含層出土金属製品  
(M19・M20・M22~M34・M36・M38・M40~  
M44)
- 図版71 南溝遺跡  
包含層出土金属製品(M46~M64)
- 図版72 南溝遺跡  
包含層出土金属製品(M65~M74)
- 図版73 南溝遺跡  
SH05出土石製品(S1・S2)  
SH09出土石製品(S3)
- 図版74 南溝遺跡  
SH12出土石製品(S4)  
SH20出土石製品(S5・S6)  
P113出土石製品(S7)
- 図版75 南溝遺跡  
SB121-P1出土石製品(S8)  
SK12出土石製品(S9)  
SK28出土石製品(S10)
- 図版76 南溝遺跡  
No42地点出土石製品(S11)  
No51地点出土石製品(S12)  
No56地点出土石製品(S13)
- No62地点出土石製品(S14)
- 図版77 南溝遺跡  
包含層出土石製品(1)(S15~S19)
- 図版78 南溝遺跡  
包含層出土石製品(2)(S20~S24)
- 図版79 南溝遺跡  
包含層出土石製品(3)(S25~S28)
- 図版80 南溝遺跡  
包含層出土石製品(4)(S29~S34)
- 図版81 南溝遺跡  
包含層出土石製品(5)(S35~S41)
- 図版82 南溝遺跡  
SK41出土石製品(S43)  
包含層出土石製品(6)(S42・S44・S45)
- 図版83 南溝遺跡  
包含層出土石製品(7)(S46~S48)
- 図版84 南溝遺跡  
No71地点出土石製品(S51)  
No72地点出土石製品(S49)  
包含層出土石製品(8)(S50・S52)
- 図版85 南溝遺跡  
包含層出土石製品(9)(S53~S55)
- 図版86 南溝遺跡  
包含層出土石製品(10)(S56~S58)
- 図版87 南溝遺跡  
包含層出土石製品(11)(S59~S64)
- 図版88 南溝遺跡  
包含層出土石製品(12)(S65)
- 南溝古墳群**
- 図版89 南溝古墳群  
南溝1号墳 初葬面出土遺物(1)  
(2025~2038・J1・M75~M83)
- 図版90 南溝古墳群  
南溝1号墳 初葬面出土遺物(2)(M84~M92)  
南溝1号墳 第1次追葬面出土遺物  
(2039・2040・M93~M99)
- 図版91 南溝古墳群  
南溝1号墳 第2次追葬面出土遺物  
(M100~M105)
- 図版92 南溝古墳群  
南溝1号墳 前庭部土器群1出土遺物  
(2041~2044)  
南溝1号墳 前庭部土器群2出土遺物(1)  
(2045~2049)

- 图版93 南溝古墳群  
南溝1号墳 前庭部土器群2出土遺物(2) (2050)  
南溝1号墳 前庭部土器群3出土遺物(1)  
(2051~2062)
- 图版94 南溝古墳群  
南溝1号墳 前庭部土器群3出土遺物(2)  
(2063~2080)  
南溝1号墳 前庭部土器群4出土遺物  
(2081~2084)
- 图版95 南溝古墳群  
南溝1号墳 前庭部出土遺物(2085・2086)  
南溝1号墳周辺出土土器(2087~2089)  
南溝1号墳 前庭部出土遺物(2)  
(J2・M106・M107)  
南溝1号墳周辺出土遺物(M108)
- 图版96 南溝古墳群  
南溝1号墳 前庭部出土遺物(3) (M109~M126)
- 图版97 南溝古墳群  
南溝2号墳 初葬面出土遺物(2090~2094・M127)  
南溝2号墳 追葬面出土遺物(1) (2095~2112)
- 图版98 南溝古墳群  
南溝2号墳 追葬面出土遺物(2) (J3~J58)
- 图版99 南溝古墳群  
南溝2号墳 追葬面出土遺物(3)  
(J59~J109・M128~M132)
- 图版100 南溝古墳群  
南溝2号墳 追葬面出土遺物(4) (M133~M139)  
南溝2号墳 掘り方内出土土器(2113~2116)  
南溝3号墳第1石室 初葬面出土遺物  
(M140~M143)
- 图版101 南溝古墳群  
南溝3号墳第1石室 追葬面出土遺物(1)  
(2117~2135・S66)
- 图版102 南溝古墳群  
南溝3号墳第1石室 追葬面出土遺物(2)  
(J113~J149・M144~M147)
- 图版103 南溝古墳群  
南溝3号墳第1石室 追葬面出土遺物(3)  
(M148~M153)  
南溝4号墳出土遺物(2136~2139・J150)
- 南溝5号墳出土遺物(2140~2147・M154~M156)  
南溝5号墳周辺出土遺物(M157)
- 图版104 南溝古墳群  
南溝6号墳出土遺物(1)  
(2148~2160・J151~J177)
- 图版105 南溝古墳群  
南溝6号墳出土遺物(2) (J178~J230)
- 图版106 南溝古墳群  
南溝6号墳出土遺物(3) (M158~M177)
- 图版107 南溝古墳群  
南溝7号墳出土遺物(1) (2161~2193)
- 图版108 南溝古墳群  
南溝7号墳出土遺物(2) (2194~2210・S67)
- 图版109 南溝古墳群  
南溝7号墳出土遺物(3) (M178~M184)
- 图版110 南溝古墳群  
南溝7号墳出土遺物(4) (M185~M190)  
南溝7号墳周辺出土遺物(M191)  
南溝8号墳出土遺物(1)  
(2211~2216・M192~M197)
- 图版111 南溝古墳群  
南溝8号墳出土遺物(2) (M198~M201)
- 图版112 南溝古墳群  
南溝10号墳第1石室出土遺物(1)  
(2217~2233・J231~J260)
- 图版113 南溝古墳群  
南溝10号墳第1石室出土遺物(2) (M202~M211)
- 图版114 南溝古墳群  
南溝10号墳第1石室出土遺物(3) (M212~M217)  
南溝10号墳第2石室出土遺物(2234・2235)  
南溝10号墳第3石室出土遺物  
(2236~2238・J261~J263・M218)
- 图版115 南溝古墳群  
南溝11号墳出土遺物(2239~2245・M219~M225)
- 图版116 南溝古墳群  
南溝古墳群周辺出土遺物(M226~M228)

# 写真図版目次

## 南構遺跡

- 写真図版1 遺跡  
北地区(第3次調査) 全景 北東上空から  
北地区(第3次調査) 全景 北西上空から  
北地区(第3次調査) 全景 北上空から
- 写真図版2 遺跡  
北地区(第3次調査) 全景 西から  
北地区(第3次調査) 俯瞰
- 写真図版3 遺跡  
北地区(第4次調査) 全景 南上空から  
北地区(第4次調査) 全景 東上空から  
北地区(第4次調査) 全景 北上空から
- 写真図版4 遺跡  
北地区(第4次調査) 俯瞰
- 写真図版5 遺跡  
北地区(第5次調査)  
A-1地区・A-2地区 俯瞰  
北地区(第5次調査) A-3地区・B地区 俯瞰  
北地区(第5次調査) C地区 俯瞰  
北地区(第5次調査) A-1地区 全景 東から
- 写真図版6 遺跡  
北地区(第5次調査) A-1地区 全景 北から  
北地区(第5次調査) A-2地区 全景 北から  
北地区(第5次調査) A-3地区 全景 北から
- 写真図版7 遺跡  
北地区(第5次調査) B地区 全景 北から  
北地区(第5次調査) C地区 全景 東から
- 写真図版8 遺跡  
南地区(第5次調査) D地区 俯瞰  
南地区(第5次調査) E地区・F地区 俯瞰  
南地区(第5次調査) D地区 東から  
南地区(第5次調査) D地区 西から
- 写真図版9 遺跡  
北地区(第9次調査) 北部 全景 南から  
北地区(第9次調査) 南部 全景 西から  
北地区(第9次調査) 全景 俯瞰  
北地区(第9次調査) 全景 北から
- 写真図版10  
南地区(第9次調査) 北部 全景 北から  
南地区(第9次調査) 中央部 全景 北から
- 南地区(第9次調査) 南部 全景 南から  
南地区(第9次調査) 俯瞰
- 写真図版11 遺跡  
南地区(第3次調査) 全景 南から  
南地区(第3次調査) 全景 西から
- 写真図版12 遺跡  
南地区(第3次調査) 全景 南西から  
南地区(第3次調査) 俯瞰
- 写真図版13 遺跡  
南地区(第2次調査) 全景 南上空から  
南地区(第2次調査) 全景 北上空から
- 写真図版14 遺跡  
南地区(第2次調査) 全景 東上空から  
南地区(第2次調査) 全景 俯瞰
- 写真図版15 遺跡  
南地区(第2次調査) 全景 南東から  
南地区(第2次調査) 全景 南から
- 写真図版16 遺跡  
南地区(第2次調査) 北半部 全景 東から  
南地区(第2次調査) 南半部 全景 西から
- 写真図版17 遺跡  
南地区(第6次調査) 全景 南東上空から  
南地区(第6次調査) 全景 南から
- 写真図版18 遺跡  
南地区(第1次調査) 遠景 東上空から  
南地区(第1次調査) 遠景 北東上空から
- 写真図版19 遺跡  
南地区(第1次調査) 遠景 北上空から  
南地区(第1次調査) 遠景 南上空から
- 写真図版20 遺跡  
南地区(第1次調査) 俯瞰
- 写真図版21 遺跡  
南地区(第1次調査) 南半部 全景 南東から  
南地区(第1次調査) 南半部 全景 北から
- 写真図版22 遺跡  
南地区(第1次調査) 南半部 全景 北西から  
南地区(第1次調査) 南半部 全景 北東から
- 写真図版23 遺跡  
南地区(第1次調査) 北半部 全景 南から

南地区(第1次調査)全景 南東から  
写真図版24 遺跡  
南地区(第3次調査)全景 南上空から  
南地区(第3次調査)全景 西上空から  
写真図版25 遺跡  
南地区(第3次調査)全景 東上空から  
写真図版26 遺跡  
南地区(第9次調査)全景 北上空から  
南地区(第9次調査)全景 南上空から  
写真図版27 遺構  
SH01 検出状況 西から  
SH01 検出状況 南から  
SH02 検出状況 西から  
写真図版28 遺構  
SH03 検出状況 北から  
SH04 検出状況 北から  
SH04 33出土状況 東から  
SH04 35出土状況 南から  
写真図版29 遺構  
SH06 確認状況 西から  
SH07 検出状況 東から  
SH08 確認状況 南から  
写真図版30 遺構  
SH09 確認状況 南から  
SH10 検出状況 西から  
SH10 52出土状況 北から  
SH10 52出土状況 西から  
写真図版31 遺構  
SH11 確認状況 西から  
SH12 確認状況 南から  
SH12 検出状況 南から  
写真図版32 遺構  
SH13 確認状況 西から  
SH13 検出状況 南から  
写真図版33 遺構  
SH14 確認状況 西から  
SH15 確認状況 西から  
SH16 確認状況 南から  
写真図版34 遺構  
SH16 土器群3 土器出土状況 西から  
SH16 土器群3 土器出土状況 北から  
SH16 土器群3 土器出土状況 南西から  
写真図版35 遺構

SH17 確認状況 南から  
SH17 確認状況 西から  
SH18 確認状況 南東から  
写真図版36 遺構  
SH19~SH21 検出状況 東から  
SH19 全景 南から  
写真図版37 遺構  
SH20 確認状況 南から SH20 全景 南から  
SH21 確認状況 南から  
写真図版38 遺構  
SB18 全景 北から SB40 全景 北から  
写真図版39 遺構  
SB96全景 西から SB99全景 東から  
写真図版40 遺構  
SB102全景 北から SB104全景 北から  
写真図版41 遺構  
SB114全景 南から SB115全景 東から  
SB117全景 北から  
写真図版42 遺構  
SB123 全景 西から SB142 全景 南西から  
写真図版43 遺構  
P063 405・406出土状況 北から  
P063 406出土状況(405取りあげ後) 北から  
P079 421出土状況 南から  
P086 429出土状況 北から  
P088 431・432出土状況 南から  
P088 431・432出土状況 西から  
P090 434・435・M2出土状況 西から  
P090 434・435・M2出土状況 北から  
写真図版44 遺構  
SK01 507出土状況 南から  
SK01 506出土状況 北から  
写真図版45 遺構  
SK02 508出土状況 東から  
SK31 断面 南から  
SK10 土器出土状況 北から  
SK10 土器出土状況 西から  
写真図版46 遺構  
SK09 521出土状況 南から  
SK12 全景 西から  
写真図版47 遺構  
SX01 全景 南から SX02 全景 南から  
SX03 全景 南から SX04 全景 西から

## 写真図版48 遺構

- No1 地点・No.2 地点 611・612出土状況 東から  
 No1 地点 611出土状況 東から  
 No2 地点 612出土状況 東から  
 No3 地点 609・610出土状況 南西から

## 写真図版49 遺構

- No4 地点 613出土状況 南から  
 No5 地点 614出土状況 北から  
 No9 地点 618出土状況 北から  
 No11地点 620出土状況 北から  
 No16地点 625出土状況 東から  
 No18地点 628出土状況 東から  
 No17地点 626・627出土状況 南西から

## 写真図版50 遺構

- No23地点 634出土状況 北から  
 No26地点 637出土状況 南西から  
 No27地点 638出土状況 東から  
 No29地点 640出土状況 南から  
 No31地点 643出土状況 南東から  
 No36地点 667出土状況 西から  
 No34地点 660・661出土状況 西から

## 写真図版51 遺構

- No38地点 669出土状況 西から  
 No39地点 670出土状況 南から  
 No41地点 672出土状況 西から  
 No42地点 S11出土状況 南から  
 No44地点 674出土状況 南から  
 No48地点 679出土状況 南から  
 No49地点 680・681出土状況 北から  
 No53地点 685出土状況 北から

## 写真図版52 遺構

- No55地点 688出土状況 北西から  
 No56地点 S2 出土状況 北西から  
 No57地点 689出土状況 西から  
 No59地点 691出土状況 南東から  
 No63地点 696～702出土状況 東から  
 No64地点 703出土状況 南から  
 No65地点 704出土状況 東から  
 No69地点 708・709出土状況 北から

## 写真図版53 遺構

- No70地点 711出土状況 北西から  
 No74地点 716出土状況 北から  
 No77地点 720～722出土状況 北から

## 写真図版54 遺物

SH01出土土器(1～5・7)

## 写真図版55 遺物

SH01出土土器(8～12・15・16)

## 写真図版56 遺物

SH01出土土器(17～21) SH02出土土器(23・24)

## 写真図版57 遺物

SH04出土土器(32～35)

SH09出土土器(40・41・43)

## 写真図版58 遺物

SH09出土土器(45) SH10出土土器・土製品  
(50～54)

SH12出土土器(58)

## 写真図版59 遺物

SH12出土土器(59・61・63・65～67・69・70)

## 写真図版60 遺物

SH12出土土器(71・73～75・79・83・84・87)

## 写真図版61 遺物

SH12出土土器(89・91～93)

## 写真図版62 遺物

SH12出土土器(97・100・102～104)

## 写真図版63 遺物

SH12出土土器(105・109・114・117)

SH12出土土器製品(118) SH13出土土器(119・120)

SH14出土土器(124)

## 写真図版64 遺物

SH14出土土器(130・131・133)

SH15出土土器(134～136)

SH16出土土器(139)

## 写真図版65 遺物

SH16出土土器(140・141・143・145・153)

## 写真図版66 遺物

SH16出土土器(147・158～163)

## 写真図版67 遺物

SH16出土土器(171・173・180・183～185)

## 写真図版68 遺物

SH16出土土器(186～190・192～194)

## 写真図版69 遺物

SH16出土土器(195～197・199・201・202)

## 写真図版70 遺物

SH16出土土器(203・205・207・209～211)

## 写真図版71 遺物

212・213・216～221: SH16出土土器

- 写真図版72 遺物  
SH16出土土器(222~224)  
SH17出土土器(226・227・230・231)
- 写真図版73 遺物  
SH17出土土器(232) SH19出土土製品(247)  
SH21出土土器(255) SH21出土土製品(259)  
SB03-P7出土土器(260)
- 写真図版74 遺物  
SB20-P6出土土器(270)  
SB53-P10出土土器(293)  
SB86-P3出土土器(299)  
SB87-P9出土土器(301)  
SB92-P3出土土器(305)  
SB95-P6出土土器(307)  
SB119-P4出土土器(318)  
SB121-P4出土土器(320)  
SB124-P6出土土器(322)
- 写真図版75 遺物  
SB129-P1出土土器(324)  
SB135-P8出土土器(326・327)  
SB137-P6出土土器(330)  
P005出土土器(336)
- 写真図版76 遺物  
P012出土土器(343) P015出土土器(346)  
P023出土土器(355) P025出土土器(357)  
P043出土土製品(377)  
P044出土土製品(378・379)  
P054出土土製品(393・394)  
P055出土土製品(395・396)  
P057出土土製品(399) P118出土土製品(462)
- 写真図版77 遺物  
P047出土土器(384) P049出土土器(386)  
P053出土土器(392) P060出土土器(402)  
P062出土土器(404) P063出土土器(405・406)  
P067出土土器(409)
- 写真図版78 遺物  
P068出土土器(410) P070出土土器(412)  
P078出土土器(420) P079出土土器(421)  
P088出土土器(431)
- 写真図版79 遺物  
P086出土土器(429) P090出土土器(434・435)  
P091出土土器(436) P096出土土器(440)  
P100出土土器(444) P105出土土器(448)
- P109出土土器(451・452)
- 写真図版80 遺物  
P110出土土器(453) P113出土土器(457)  
P115出土土器(459) P122出土土器(485)  
P129出土土器(492) P130出土土器(493)  
SK01出土土器(506・507)
- 写真図版81 遺物  
P121出土土製品(467~484)  
SK02出土土器(508) SK08出土土器(518)  
SK12出土土製品(539)  
No32地点出土土製品(651・652)  
No33地点出土土製品(658)
- 写真図版82 遺物  
SK09出土土器(521) SK10出土土器(522~527)
- 写真図版83 遺物  
SK10出土土器(528~533) SK11出土土器(536)  
SK12出土土器(537)
- 写真図版84 遺物  
SK13出土土器(540) SK23出土土器(551)  
SK30出土土器(558) SK31出土土器(559)  
SK32出土土器(561) SK38出土土器(565)  
SK42出土土器(570・576)
- 写真図版85 遺物  
SK42出土土器(579・580・583~587・589~591)
- 写真図版86 遺物  
SK42出土土器(592・593・596・597・599)  
SD02出土土器(607)
- 写真図版87 遺物  
No03地点出土土器(609) No01地点出土土器(611)  
No02地点出土土器(612) No04地点出土土器(613)  
No05地点出土土器(614) No06地点出土土器(615)
- 写真図版88 遺物  
No08地点出土土器(617) No11地点出土土器(620)  
No15地点出土土器(624)  
No17地点出土土器(626・627)
- 写真図版89 遺物  
No18地点出土土製品(628)
- 写真図版90 遺物  
No23地点出土土器(634) No25地点出土土器(636)  
No27地点出土土器(638) No28地点出土土器(639)
- 写真図版91 遺物  
No29地点出土土器(640) No31地点出土土器(643)  
No32地点出土土器(649・650)

- No.33地点出土土器(655~657)
- 写真图版92 遺物  
No.34地点出土土器(660·661)  
No.35地点出土土器(662·665)  
No.36地点出土土器(667)
- 写真图版93 遺物  
No.37地点出土土器(668) No.39地点出土土器(670)  
No.41地点出土土器(672) No.43地点出土土器(673)  
No.45地点出土土器(675) No.46地点出土土器(676)
- 写真图版94 遺物  
No.48地点出土土器(679)  
No.49地点出土土器(680·681)  
No.50地点出土土器(683) No.54地点出土土器(686)  
No.55地点出土土器(688) No.60地点出土土器(692)  
No.61地点出土土器(694)
- 写真图版95 遺物  
No.63地点出土土器(696·697·700·701)  
No.64地点出土土器(703) No.65地点出土土器(704)  
No.66地点出土土器(705)
- 写真图版96 遺物  
No.68地点出土土器(707)  
No.69地点出土土器(708·709)  
No.73地点出土土器(713)
- 写真图版97 遺物  
No.73地点出土土器(714) No.74地点出土土器(716)  
No.77地点出土土器(721·722)  
No.78地点出土土器(723·724·728)  
No.80地点出土土器(730·733)
- 写真图版98 遺物  
No.79地点出土土器(729)
- 写真图版99 遺物  
No.80地点出土土器(734·737)  
No.81地点出土土器(739~741)  
包含層出土土器 縄文土器(1)(742·746)
- 写真图版100 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(2)  
(743·745·747~751)
- 写真图版101 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(3)  
(761~764·768·770·2246)
- 写真图版102 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(4)  
(752·753·774·778·2247)
- 写真图版103 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(5)  
(754·756·758·759·766·767·769)
- 写真图版104 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(6)  
(757·760·765·771~772)
- 写真图版105 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(7)(773·798·799)
- 写真图版106 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(8)  
(775~777·779~781)
- 写真图版107 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(9)  
(744·755·782·783·785~788)
- 写真图版108 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(10)(789·793~796)
- 写真图版109 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(11)(800~805)
- 写真图版110 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(12)(806~812)
- 写真图版111 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(13)  
(784·790~792·797)
- 写真图版112 遺物  
包含層出土土器 縄文土器(14)(813~815)
- 写真图版113 遺物  
包含層出土土器  
(818·826·831·833·834·836·837)
- 写真图版114 遺物  
包含層出土土器(838·846·855·859·873·874)
- 写真图版115 遺物  
包含層出土土器  
(875·881·894·909·916·924·929·931)
- 写真图版116 遺物  
包含層出土土器  
(938·962·966·972·975·976·978·985)
- 写真图版117 遺物  
包含層出土土器(980·981·997·1000·1001)
- 写真图版118 遺物  
包含層出土土器(1017·1018·1024·1025)
- 写真图版119 遺物  
包含層出土土器(1028·1030·1044)
- 写真图版120 遺物

- 包含層出土土器(1047~1049·1051)
- 写真図版121 遺物  
包含層出土土器(1053·1069·1073·1075)
- 写真図版122 遺物  
包含層出土土器(1074·1077·1079·1087)
- 写真図版123 遺物  
包含層出土土器(1089·1102·1103·1121)
- 写真図版124 遺物  
包含層出土土器  
(1105·1127·1129·1131·1135·1143·1146·1152)
- 写真図版125 遺物  
包含層出土土器  
(1153~1155·1157·1161·1164·1170·1173)
- 写真図版126 遺物  
包含層出土土器  
(1174·1176·1178~1180·1183·1186·1187·1190)
- 写真図版127 遺物  
包含層出土土器  
(1191·1198·1205·1208·1216~1218)
- 写真図版128 遺物  
包含層出土土器  
(1223·1227·1209·1244·1247·1252·1255·1256)
- 写真図版129 遺物  
包含層出土土器(1257·1259·1264·1272~1275)
- 写真図版130 遺物  
包含層出土土器  
(1277·1278·1280·1282·1289·1307·1310)
- 写真図版131 遺物  
包含層出土土器  
(1314·1324·1326·1327·1329·1335)
- 写真図版132 遺物  
包含層出土土器(1336·1337·1340·1345·  
1348·1350·1352·1354·1358·1359·1367)
- 写真図版133 遺物  
包含層出土土器(1368·1373·1374·1381·  
1382·1385·1389·1391)
- 写真図版134 遺物  
包含層出土土器(1395·1396·1398·1400·  
1406·1417)
- 写真図版135 遺物  
包含層出土土器(1419·1422·1424·1431·  
1436·1438·1439·1441·1442·1444)
- 写真図版136 遺物  
包含層出土土器(1446·1449·1457·1458·  
1462·1463)
- 写真図版137 遺物  
包含層出土土器(1464·1465·1469·1473·  
1479·1480·1488·1501·1502)
- 写真図版138 遺物  
包含層出土土器(1504·1506·1512·1515·  
1517~1520)
- 写真図版139 遺物  
包含層出土土器(1521·1525·1526·1528·1530)
- 写真図版140 遺物  
包含層出土土器(1529·1531~1533)
- 写真図版141 遺物  
包含層出土土器(1535·1536·1538·1540·  
1544·1545·1548·1550)
- 写真図版142 遺物  
包含層出土土器(1552·1553·1557·1559·  
1560·1565)
- 写真図版143 遺物  
包含層出土土器(1571·1572·1574·1575·  
1577·1580·1584)
- 写真図版144 遺物  
包含層出土土器(1585·1587·1592·1593·  
1596·1600)
- 写真図版145 遺物  
包含層出土土器 古代(18)(1598·1601~1603)
- 写真図版146 遺物  
包含層出土土器(1604~1606·1612~1620)
- 写真図版147 遺物  
包含層出土土器(1621~1623·1625·1628·  
1629·1633~1637)
- 写真図版148 遺物  
P012出土土器(343) No.22地点出土土器(633)  
包含層出土土器(1670·1676·1677)
- 写真図版149 遺物  
SB03-P 8 出土土器(262)  
SK29出土土器(557)  
No.46地点出土土器(677)  
包含層出土土器(1638~1646)
- 写真図版150 遺物  
包含層出土土器(1647~1657)
- 写真図版151 遺物  
包含層出土土器(1658~1668)

- 写真図版152 遺物  
包含層出土土器(1669・1671～1675・1678～1681)
- 写真図版153 遺物  
包含層出土土器(1682～1690)
- 写真図版154 遺物  
包含層出土土器(1691～1698)
- 写真図版155 遺物  
包含層出土土器(1886～1900)
- 写真図版156 遺物  
包含層出土土器(1901～1915)
- 写真図版157 遺物  
包含層出土土器(1704～1707・1916～1920)
- 写真図版158 遺物  
包含層出土土器(1702・1703・1708～1711)
- 写真図版159 遺物  
包含層出土土器(1719・1722・1724・1725・  
1728・1735・1740)
- 写真図版160 遺物  
包含層出土土器(1733・1734・1744・1745・  
1755・1756)
- 写真図版161 遺物  
包含層出土土器(1749・1753・1762・1763・  
1772・1773)
- 写真図版162 遺物  
包含層出土土器(1769・1774・1782)
- 写真図版163 遺物  
包含層出土土器(1777・1786・1788・1791・  
1792・1795)
- 写真図版164 遺物  
包含層出土土器(1796・1797・1799・1802・  
1805～1807・1814)
- 写真図版165 遺物  
包含層出土土器(1815・1816・1819・1822・  
1828・1830)
- 写真図版166 遺物  
包含層出土土器(1829・1833・1839・1850・  
1855・1858)
- 写真図版167 遺物  
包含層出土土器(1863・1866・1868・1869・1872)
- 写真図版168 遺物  
包含層出土土器(1873・1880・1881・1884・1885)
- 写真図版169 遺物  
包含層出土土器(1921～1928)
- 包含層出土土製品(1)(1946)
- 写真図版170 遺物  
包含層出土土製品(2)(1947・1948)
- 写真図版171 遺物  
包含層出土土製品(3)(1949～1951・1953)
- 写真図版172 遺物  
包含層出土土製品(4)(1952・2023・2024)
- 写真図版173 遺物  
包含層出土土製品(5)(1955～1990)
- 写真図版174 遺物  
包含層出土土製品(6)(1991～2021)
- 写真図版175 遺物  
包含層出土土器(2248・2249)  
包含層出土瓦(2250)  
包含層出土粘土塊
- 写真図版176 遺物  
包含層出土粘土塊 包含層出土土製品
- 写真図版177 遺物  
P090出土金属製品(M2)  
P107出土金属製品(M3～M6)  
包含層出土金属製品(M7)
- 写真図版178 遺物  
包含層出土金属製品(M8～M17)  
X線透過写真(M13・M16)
- 写真図版179 遺物  
包含層出土金属製品(M18～M20・M22・M23)  
P103出土金属製品(M21)  
X線透過写真(M19・M20・M22・M23)
- 写真図版180 遺物  
包含層出土金属製品(M24～M34・M36・M38・  
M40～M44・M46～M49)
- SK01出土金属製品(M35)  
SK12出土金属製品(M45)
- 写真図版181 遺物  
包含層出土金属製品(M50～M56)  
X線透過写真(M50・M51・M53～M56)
- 写真図版182 遺物  
包含層出土金属製品(M57～M62)  
X線透過写真(M61)
- 写真図版183 遺物  
包含層出土金属製品(M64～M70)  
X線透過写真(M64～M66・M69・M70)
- 写真図版184 遺物

SH05出土石製品(S1・S2)  
SH09出土石製品(S3)  
写真図版185 遺物  
SH12出土石製品(S4)  
SH20出土石製品(S5・S6)  
P113出土石製品(S7)  
写真図版186 遺物  
SB121-P1出土石製品(S8)  
SK12出土石製品(S9)  
SK28出土石製品(S10)  
No42地点出土石製品(S11)  
写真図版187 遺物  
No51地点出土石製品(S12)  
No56地点出土石製品(S13)  
No62地点出土石製品(S14)  
包含層出土石製品(1)(S15)  
写真図版188 遺物  
包含層出土石製品(2)(S16~S19)  
写真図版189 遺物  
包含層出土石製品(3)(S20~S23)  
写真図版190 遺物  
包含層出土石製品(4)(S24~S26)  
写真図版191 遺物  
包含層出土石製品(5)(S27~S30)  
写真図版192 遺物  
包含層出土石製品(6)(S31~S35)  
写真図版193 遺物  
包含層出土石製品(7)(S36~S40)  
写真図版194 遺物  
SK41出土石製品(S43)  
包含層出土石製品(8)(S41・S42・S44)  
写真図版195 遺物  
包含層出土石製品(9)(S45~S48・S50)  
写真図版196 遺物  
No71地点出土石製品(S51)  
No72地点出土石製品(S49)  
P093出土石製品(S53)  
包含層出土石製品(10)(S52)  
写真図版197 遺物  
包含層出土石製品(11)(S54~S57)  
写真図版198 遺物  
包含層出土石製品(12)(S58・S59)  
写真図版199 遺物

包含層出土石製品(13)(S60~S63)  
写真図版200 遺物  
包含層出土石製品(14)(S64)  
写真図版201 遺物  
包含層出土石製品(15)(S65)

#### 南橋古墳群

写真図版202 南橋1号墳  
全景(俯瞰) 全景 南から  
写真図版203 南橋1号墳  
遠景 北西から 全景 北から  
写真図版204 南橋1号墳  
全景 東から 全景 西から  
全景 南西から  
写真図版205 南橋1号墳  
第2次追葬面 全景 南から  
写真図版206 南橋1号墳  
第2次追葬面(石室北部) 近景 南から  
第2次追葬面(石室中央部) 近景 南から  
第2次追葬面(石室南部) 近景 南から  
写真図版207 南橋1号墳  
第2次追葬面 全景 東から  
第2次追葬面 石室南部近景 東から  
第2次追葬面 石室中央部近景 東から  
第2次追葬面 石室北部近景 東から  
写真図版208 南橋1号墳  
第2次追葬面 M101・M103出土状況 北から  
第2次追葬面 M100・M102・M104出土状況 東から  
第2次追葬面 M100・M102・M104出土状況 北から  
第2次追葬面 M100出土状況 東から  
写真図版209 南橋1号墳  
第1次追葬面 全景 東から  
第1次追葬面 石室北部近景 東から  
第1次追葬面 石室中央部近景 東から  
写真図版210 南橋1号墳  
第1次追葬面 石室北部近景 南から  
第1次追葬面 石室中央部近景 南から  
写真図版211 南橋1号墳  
全景(初葬時) 南から 初葬面 全景 南から  
写真図版212 南橋1号墳  
初葬面 全景 東から

初葬面 (中央部) 近景 東から					南から
第1次追葬面下 2032出土状況 北から		開口部南西側 土器群2 2046出土状況			南から
第1次追葬面下 2028出土状況 東から		開口部南西側 土器群2			
初葬面 2027・2032出土状況 西から				2046・2049・2050出土状況	南から
写真図版213 南構1号墳		開口部南側 土器群3中央部 土器出土状況			
初葬面 2025・2027・2029・2031～2033出土状況					南から
	東から	開口部南側 土器群3中央部 土器出土状況			
初葬面 2025・2029・2031出土状況 東から					南東から
写真図版214 南構1号墳		写真図版221 南構1号墳			
初葬面 2035・2037出土状況 西から		開口部南側 土器群3 土器出土状況			南から
初葬面 2033・M85出土状況 北から		開口部南側 土器群3北部 土器出土状況			東から
写真図版215 南構1号墳		開口部南側 土器群3北部 土器出土状況			西から
第1次追葬面 M93出土状況 南から		写真図版222 南構1号墳			
初葬面 M75出土状況 北から		開口部南側 土器群3 土器出土状況			南から
初葬面 M87出土状況 東から		開口部南側 土器群3 2059・2072出土状況			
初葬面 M88出土状況 南から					南から
初葬面 M84出土状況 北から		開口部南側 土器群3 2059・2072出土状況			
初葬面 J1出土状況 西から					東から
写真図版216 南構1号墳		開口部南側 土器群3 2072出土状況			西から
列石 全景 南から 列石 全景 南東から		開口部南側 土器群3 2071出土状況			南から
列石 全景 北から		開口部南側 土器群3 2038出土状況			東から
写真図版217 南構1号墳		開口部南側 土器群3 2066出土状況			西から
西側列石 西から 西側列石 西から		写真図版223 南構1号墳			
西側列石 中央部 西から		開口部南側 土器群3 M106出土状況			東から
西側列石 北西部 北から		開口部南側 土器群3 M107出土状況			東から
西側列石 北西部 西から		開口部南側 土器群3 M122出土状況			東から
西側列石 断面 南から		開口部南側 土器群3 M122出土状況			南から
北側列石 断面 西から		開口部南側 土器群3 M121出土状況			北東から
写真図版218 南構1号墳		開口部南側 土器群3 M109出土状況			南から
東側列石 東から 東側列石 東から		開口部南側 土器群3 M114出土状況			東から
東側列石 北東部 北東から		開口部南側 土器群3 J2出土状況			東から
東側列石 中央部 東から		写真図版224 南構1号墳			
東側列石 北東部 北から		開口部南側 土器群4 土器出土状況			南から
東側列石 南東部 東から		開口部南側 土器群4 2083出土状況			南から
東側列石 断面 南から		写真図版225 南構1号墳 遺物			
写真図版219 南構1号墳		初葬面出土土器(2025～2028・2034)			
開口部南西側 土器群1 2041出土状況 東から		写真図版226 南構1号墳 遺物			
開口部南西側 土器群2 土器出土状況		初葬面出土土器(2029～2032)			
	南西から	写真図版227 南構1号墳 遺物			
開口部南西側 土器群2 土器出土状況 東から		初葬面出土土器(2033・2035～2037)			
写真図版220 南構1号墳		写真図版228 南構1号墳 遺物			
開口部南側 土器群2 2050出土状況 南から		初葬面出土土器(2038)			
開口部南側 土器群2 2049・2050出土状況		第1次追葬面出土土器(2039・2040)			

- 前庭部土器群1出土土器(2041・2042)  
写真図版229 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群1出土土器(2043)  
前庭部土器群2出土土器(2045~2047・2049・2050)  
前庭部土器群3出土土器(2051・2052)  
写真図版230 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群3出土土器  
(2053・2057・2060~2063)  
写真図版231 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群3出土土器(2065~2068)  
写真図版232 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群3出土土器(2069・2070・2073)  
石室東側出土土器(2074)  
写真図版233 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群3出土土器(2075・2076・2079)  
写真図版234 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群3出土土器(2077・2078・2079)  
写真図版235 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群3出土土器(2071・2072)  
前庭部土器群4出土土器(2082・2083)  
写真図版236 南構1号墳 遺物  
前庭部土器群4出土土器(2084)  
前庭部出土土器(2085・2086)  
周辺出土土器(2087)  
写真図版237 南構1号墳 遺物  
初葬面出土玉類(J1)  
前庭部出土玉類(J2)  
前庭部出土金属製品(M106・M107・M124)  
周辺出土金属製品(M108)  
写真図版238 南構1号墳 遺物  
初葬面出土金属製品(M75~M83)  
X線透過写真(M75~M77)  
写真図版239 南構1号墳 遺物  
初葬面出土金属製品(M84~M86)  
X線透過写真(M84~M86)  
写真図版240 南構1号墳 遺物  
初葬面出土金属製品(M87・M88・M90~M92)  
X線透過写真(M87・M88・M90・M91)  
写真図版241 南構1号墳 遺物  
初葬面出土金属製品(M89)  
第1次追葬面出土金属製品(M93~M97)  
X線透過写真(M89・M93~M97)  
写真図版242 南構1号墳 遺物  
第1次追葬面出土金属製品(M98・M99)  
第2次追葬面出土金属製品(M100~M104)  
X線透過写真(M98・M101)  
写真図版243 南構1号墳 遺物  
第2次追葬面出土金属製品(M105)  
前庭部出土金属製品(M109~M120)  
X線透過写真  
(M105・M109・M110・M112・M114)  
写真図版244 南構1号墳 遺物  
前庭部出土金属製品(M121~M123・M125・M126)  
X線透過写真(M121・M122)  
写真図版245 南構2号墳  
追葬面全景 北西から  
写真図版246 南構2号墳  
追葬面 土器出土状況 全景 北東から  
追葬面 土器出土状況 全景 北西から  
写真図版247 南構2号墳  
追葬面 東部土器出土状況 北東から  
追葬面 東部土器出土状況 南西から  
写真図版248 南構2号墳  
追葬面 南部土器出土状況 北西から  
追葬面 南東部土器出土状況 南西から  
追葬面 南東部土器出土状況 南西から  
写真図版249 南構2号墳  
追葬面 北西部土器出土状況 北西から  
追葬面 北西部土器出土状況 南西から  
追葬面 北西隅土器出土状況 南西から  
写真図版250 南構2号墳  
追葬面 副葬品出土状況 西から  
追葬面 副葬品出土状況 北西から  
写真図版251 南構2号墳  
追葬面 J3出土状況 南西から  
追葬面 J7出土状況 北西から  
追葬面 J4出土状況 北西から  
追葬面 J5出土状況 北西から  
追葬面 J12出土状況 北西から  
追葬面 J9出土状況 南西から  
追葬面 M136出土状況 北東から  
追葬面 M130出土状況 北西から  
写真図版252 南構2号墳  
追葬面 全景 北西から  
写真図版253 南構2号墳  
追葬面 近景 南東から

- 写真図版254 南溝2号墳  
 追葬面 断面 北西から  
 追葬面下 土器出土状況 南から  
 追葬面下 土器出土状況 南東から
- 写真図版255 南溝2号墳  
 初葬面 全景 北西から
- 写真図版256 南溝2号墳  
 初葬面 2090～2093出土状況 北西から  
 初葬面 2090～2092出土状況 北西から  
 初葬面 2094出土状況 北東から
- 写真図版257 南溝2号墳  
 初葬面 全景 北西から  
 初葬面 全景 北東から
- 写真図版258 南溝2号墳  
 石室(礎床撤去後) 全景 北西から  
 南東側小口 全景 北西から
- 写真図版259 南溝2号墳  
 北東側壁 全景 北西から  
 南西側壁 全景 北西から  
 北西小口 全景 南東から
- 写真図版260 南溝2号墳  
 北東側壁全景 南西から  
 南西側壁全景 北東から  
 掘り方全景 北西から
- 写真図版261 南溝2号墳 遺物  
 初葬面出土土器(2090～2093)
- 写真図版262 南溝2号墳 遺物  
 初葬面出土土器(2094)  
 追葬面出土土器(2095～2097)
- 写真図版263 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土土器(2098～2101)
- 写真図版264 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土土器(2102～2105・2107)
- 写真図版265 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土土器(2106・2108～2112)
- 写真図版266 南溝2号墳 遺物  
 掘り方内出土土器(2113・2114)  
 初葬面出土金属製品(M127)  
 追葬面出土金属製品(M128～M130)  
 X線透過写真(M127・M130)
- 写真図版267 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土金属製品(M131～M139)  
 X線透過写真(M133～M137)
- 写真図版268 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土玉類(J3～J8・J33～J35)  
 X線透過写真(J4～J6)
- 写真図版269 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土玉類(J9～J32)
- 写真図版270 南溝2号墳 遺物  
 追葬面出土玉類(J36～J109)
- 写真図版271 南溝3号墳  
 検出前全景 南東から 検出後全景 南東から
- 写真図版272 南溝3号墳  
 全景 南西から  
 第1石室・第2石室 近景 南西から
- 写真図版273 南溝3号墳  
 第1石室 追葬面 副葬品出土状況 南東から
- 写真図版274 南溝3号墳  
 第1石室 追葬面 土器群1～4出土状況 南東から  
 第1石室 追葬面 副葬品出土状況 南東から
- 写真図版275 南溝3号墳  
 第1石室 追葬面 土器群1～4検出状況 南西から  
 第1石室 追葬面 土器群1検出状況 北西から  
 第1石室 追葬面 土器群2検出状況 南西から  
 第1石室 追葬面 土器群3検出状況 北西から
- 写真図版276 南溝3号墳  
 第1石室 追葬面 土器群3検出状況 南西から  
 第1石室 追葬面 土器群4検出状況 南東から  
 第1石室 追葬面 土器群4検出状況 南西から  
 第1石室 追葬面 2135出土状況 南西から  
 第1石室 追葬面 2130・2131出土状況 北東から  
 第1石室 追葬面 S66出土状況 北西から  
 第1石室 追葬面 J115出土状況 南西から
- 写真図版277 南溝3号墳  
 第1石室 追葬面 丸玉出土状況 南西から  
 第1石室 追葬面 J114・J116出土状況 南西から  
 第1石室 追葬面 J115・J125出土状況 南から  
 第1石室 追葬面 M149出土状況 南から  
 第1石室 追葬面 M140出土状況 南西から
- 写真図版278 南溝3号墳  
 第1石室 初葬面全景 南東から
- 写真図版279 南溝3号墳  
 第1石室 礎床断面 南東から  
 第1石室 全景(礎床撤去後) 南東から

- 写真図版280 南構3号墳  
第1石室 西側壁 北から  
第1石室 北東側壁 南から  
第1石室 南東小口 北西から
- 写真図版281 南構3号墳  
第2石室 全景 南東から  
第2石室 礎床断面 南東から
- 写真図版282 南構3号墳  
第2石室 西側壁 南東から  
第2石室 北東側壁 南西から  
第2石室 全景(礎床撤去後) 南東から
- 写真図版283 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土土器(2117~2120)
- 写真図版284 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土土器(2121~2124)
- 写真図版285 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土土器(2125~2128)
- 写真図版286 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土土器(2129~2132)
- 写真図版287 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土土器(2133~2135)  
南構1号墳周辺出土土器(2089)
- 写真図版288 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土金属製品(M144~M153)  
X線透過写真(M146・M147・M149・M150)
- 写真図版289 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土玉類(J113~J116)  
第1石室追葬面出土石製品(S66)
- 写真図版290 南構3号墳 遺物  
第1石室追葬面出土玉類(J117~J149)
- 写真図版291 南構4号墳  
全景 東から
- 写真図版292 南構4号墳  
2136・2137出土状況 東から  
2139出土状況 東から  
2138出土状況 東から 西部礎床 東から
- 写真図版293 南構4号墳  
礎床断面 東から 全景(円礎撤去後) 東から
- 写真図版294 南構4号墳  
東壁 西から 掘り方と基底石 東から
- 写真図版295 南構4号墳 遺物  
出土土器(2136~2139)
- 写真図版296 南構5号墳  
石室内遺物出土状況 南東から
- 写真図版297 南構5号墳  
2140~2143出土状況 南東から  
2144・2146・2147出土状況 北東から  
2144・2146出土状況 北東から
- 写真図版298 南構5号墳  
2146・2147出土状況 北東から  
2146・2147出土状況 北から  
2146・2147出土状況 南東から  
2145出土状況 北東から
- 写真図版299 南構5号墳  
礎床近景(玉砂利除去中) 南東から  
礎床全景(玉砂利除去後) 南東から
- 写真図版300 南構5号墳  
礎床全景(玉砂利除去後) 北西から  
礎床横断面 北西から 礎床縦断面 南西から
- 写真図版301 南構5号墳  
北東側壁全景 南西から  
西側壁全景 北東から  
基底石全景 南東から
- 写真図版302 南構5号墳 遺物  
出土土器(2140~2142・2145)
- 写真図版303 南構5号墳 遺物  
出土土器(2143・2144・2146・2147)
- 写真図版304 南構5号墳 遺物  
出土金属製品(M154~M156)  
周辺出土金属製品(M157)  
X線透過写真(M154~M157)
- 写真図版305 南構6号墳  
全景 北から
- 写真図版306 南構6号墳  
2148~2152・2160出土状況 南から  
2148~2152・2160出土状況 西から  
2150~2152・2155・2160出土状況 東から
- 写真図版307 南構6号墳  
2153・2154出土状況 南西から  
2159出土状況 南西から  
M160出土状況 西から 初葬面全景 南から
- 写真図版308 南構6号墳  
初葬面全景 東から  
石室全景(礎床撤去後) 南から
- 写真図版309 南構6号墳 遺物  
出土土器(2148~2151)

- 写真図版310 南構6号墳 遺物  
出土土器(2152・2153・2155・2156)
- 写真図版311 南構6号墳 遺物  
出土土器(2154・2157~2160)
- 写真図版312 南構6号墳 遺物  
出土金属製品(M158~M160)  
X線透過写真(M158~M160)
- 写真図版313 南構6号墳 遺物  
出土金属製品(M161~M175)  
X線透過写真(M161)
- 写真図版314 南構6号墳 遺物  
出土金属製品(M176・M177)  
X線透過写真  
(M164・M165・M167~M169・M177)
- 写真図版315 南構6号墳 遺物  
出土玉類(J151~J166)  
X線透過写真(J151~J159・J164)
- 写真図版316 南構6号墳 遺物  
出土玉類(J167~J230)
- 写真図版317 南構7号墳  
石室内近景 南東から
- 写真図版318 南構7号墳  
石室全景 北西から
- 写真図版319 南構7号墳  
石室南隅上層 土器出土状況 北東から  
石室南隅上層 土器出土状況 北西から  
石室南隅上層 土器出土状況 北西から
- 写真図版320 南構7号墳  
石室北西部上層 遺物出土状況 南東から  
石室北西部上層 遺物出土状況 北西から  
2162・2192出土状況 南東から  
2167・M178出土状況 南東から
- 写真図版321 南構7号墳  
追葬面 2174・2180出土状況 北西から  
追葬面 2164出土状況 南東から  
追葬面 2177出土状況 南東から  
追葬面 M182・M187出土状況 南東から  
追葬面 M180出土状況 南東から  
追葬面 M184出土状況 南東から  
追葬面 M185・M186出土状況 南東から
- 写真図版322 南構7号墳  
初葬面近景 北西から 初葬面全景 南西から
- 写真図版323 南構7号墳  
初葬面 南部土器出土状況 北西から  
初葬面 2181・2190・2204出土状況 北から  
初葬面 2163・S67出土状況 北から  
初葬面 2203出土状況 北から
- 写真図版324 南構7号墳  
羨道部全景 南東から  
閉塞部南西壁 北東から
- 写真図版325 南構7号墳  
閉塞部全景 南西から  
閉塞部 閉塞石除去後全景 南東から  
閉塞部全景 北西から
- 写真図版326 南構7号墳  
石室 礎床撤去後全景 南東から  
東側壁全景 南西から
- 写真図版327 南構7号墳 遺物  
出土土器(2161~2165・2167)
- 写真図版328 南構7号墳 遺物  
出土土器(2166・2168~2172)
- 写真図版329 南構7号墳 遺物  
出土土器(2173~2178)
- 写真図版330 南構7号墳 遺物  
出土土器(2179~2183・2188)
- 写真図版331 南構7号墳 遺物  
出土土器(2184~2187・2189~2193)
- 写真図版332 南構7号墳 遺物  
出土土器(2194~2199)
- 写真図版333 南構7号墳 遺物  
出土土器(2200~2202・2204)
- 写真図版334 南構7号墳 遺物  
出土土器(2203) 出土石製品(S67)
- 写真図版335 南構7号墳 遺物  
出土金属製品(M178) X線透過写真(M178)
- 写真図版336 南構7号墳 遺物  
出土金属製品(M179・M180)  
X線透過写真(M179・M180)
- 写真図版337 南構7号墳 遺物  
出土金属製品(M181~M184)  
X線透過写真(M181~M184)
- 写真図版338 南構7号墳 遺物  
出土金属製品(M185~M191)  
X線透過写真(M185~M191)
- 写真図版339 南構8号墳  
全景 南から

- 写真図版340 南構8号墳  
全景 西から 遺物出土状況 南から
- 写真図版341 南構8号墳  
石室中央部 遺物出土状況 東から  
2211・2212・2216出土状況 南から  
2211・2212・2216出土状況 南から
- 写真図版342 南構8号墳  
2213・2215出土状況 南から  
2214出土状況 南から  
M193・M199・M201出土状況 東から  
M192出土状況 北から  
M198出土状況 東から
- 写真図版343 南構8号墳  
基底石全景 南から 基底石全景 東から
- 写真図版344 南構8号墳  
奥壁全景 南から 東側壁全景 南西から  
西側壁全景 南東から
- 写真図版345 南構8号墳 遺物  
出土土器(2211~2216)
- 写真図版346 南構8号墳 遺物  
出土金属製品(M192・M193)  
X線透過写真(M192・M193)
- 写真図版347 南構8号墳 遺物  
出土金属製品(M194~M200)  
X線透過写真(M194・M198~M200)
- 写真図版348 南構8号墳 遺物  
出土金属製品(M201) X線透過写真(M201)
- 写真図版349 南構9号墳  
全景 南から 南壁 北から
- 写真図版350 南構9号墳  
石室全景(礎床撤去後) 南から  
石室全景(礎床撤去後) 北西から
- 写真図版351 南構9号墳  
西側壁全景 東から 東側壁全景 西から  
南西隅近景 北東から
- 写真図版352 南構9号墳  
基底石全景 東から 掘り方全景 東から  
石室断面 南から
- 写真図版353 南構10号墳  
全景 俯瞰 全景 南東から
- 写真図版354 南構10号墳  
全景 西から 全景 南から
- 写真図版355 南構10号墳  
第1石室全景 南から
- 写真図版356 南構10号墳  
第1石室全景 南東から 第1石室全景 東から  
第1石室全景 北から
- 写真図版357 南構10号墳  
第1石室 初葬面北部 遺物出土状況 西から  
第1石室 初葬面北部 遺物出土状況 南から  
第1石室 初葬面北部 遺物出土状況 北から
- 写真図版358 南構10号墳  
第1石室初葬面 2217・2218出土状況 南から  
第1石室初葬面 2232・2233出土状況 東から  
第1石室初葬面 2232・2233出土状況 北から  
第1石室初葬面 2228出土状況 南から  
第1石室初葬面 M202・M211・M212出土状況 北から
- 第1石室初葬面 M204出土状況 西から  
第1石室初葬面 M202・M203出土状況 北から  
第1石室初葬面 J234出土状況 南から  
第1石室追葬面 M210出土状況 南から
- 写真図版359 南構10号墳  
第1石室 礎床断面 南から  
第1石室 全景(礎床撤去後) 南から
- 写真図版360 南構10号墳  
第1石室 東側壁 西から  
第1石室 西側壁 東から  
第1石室 掘り方全景 南から
- 写真図版361 南構10号墳  
第2石室 全景 東から  
第2石室 全景 東から  
第2石室 2234・2235出土状況 東から
- 写真図版362 南構10号墳  
第3石室 全景 南東から  
第3石室 全景 東から  
第3石室 M218出土状況 南東から  
第3石室 2238出土状況 南から
- 写真図版363 南構10号墳 遺物  
第1石室出土土器(2217~2220・2222・2224)
- 写真図版364 南構10号墳 遺物  
第1石室出土土器(2221・2223・2225~2228)
- 写真図版365 南構10号墳 遺物  
第1石室出土土器(2229・2230・2232・2233)
- 写真図版366 南構10号墳 遺物  
第1石室出土土器(2232・2233)

- 第2石室出土土器(2234・2235)  
 第3石室出土土器(2236・2237)  
 写真図版367 南構10号墳 遺物  
 第1石室出土玉類(J231～J260)  
 第3石室出土玉類(J261～J263)  
 X線透過写真(J231・J232)  
 写真図版368 南構10号墳 遺物  
 第1石室出土金属製品(M202・M203)  
 X線透過写真(M202・M203)  
 写真図版369 南構10号墳 遺物  
 第1石室出土金属製品(M204・M205)  
 X線透過写真(M204・M205)  
 写真図版370 南構10号墳 遺物  
 第1石室出土金属製品(M209・M214・M215)  
 X線透過写真(M209・M214・M215)  
 写真図版371 南構10号墳 遺物  
 第1石室出土金属製品  
 (M206～M208・M210～M213・M216・M217)  
 写真図版372 南構10号墳 遺物  
 第3石室出土金属製品(M218)  
 X線透過写真  
 (M206～M208・M212・M213・M218)  
 写真図版373 南構11号墳  
 全景 南東から
- 写真図版374 南構11号墳  
 2239・2241・2242・2244・2245出土状況 東から  
 2239・2241・2242・2244・2245出土状況 南西から  
 2240・2243出土状況 南東から  
 写真図版375 南構11号墳  
 M219出土状況 南西から  
 M224出土状況 北西から  
 M221出土状況 南西から  
 M220出土状況 北東から  
 北東側壁 南西から 東側壁 南から  
 写真図版376 南構11号墳  
 禿床断面 南東から 基底石全景 南東から  
 写真図版377 南構11号墳 遺物  
 出土土器(2239・2241・2243・2244)  
 写真図版378 南構11号墳 遺物  
 出土土器(2240・2242・2245)  
 出土金属製品(M219)  
 X線透過写真(M219)  
 写真図版379 南構11号墳 遺物  
 出土金属製品(M220～M225)  
 X線透過写真(M220)  
 写真図版380 南構11号墳他 遺物  
 古墳群出土金属品(M226～M228)  
 X線透過写真(M221～M224・M226)



第1図 豊岡市の位置

# 第1章 南構遺跡

## 第1節 地理的環境

### 1. 豊岡市の地理的位置

南構遺跡は豊岡市日高町久斗に所在する。豊岡市は、兵庫県の北部、いわゆる但馬地域にあたり、この但馬地域のなかでも北部にあたる地域である(第1図・第2図)。南側は養父市と、西側は美方郡新温泉町と、東側は京都府京丹後市と、南東側は同福知山市と、それぞれ境をなしている(第4図)。また、北側は日本海に面している。市域は、南北28km、東西39kmと東西に長く、その面積は697.55km<sup>2</sup>と、兵庫県下では最大規模をほこる。

現在の豊岡市は、平成17年4月1日に、いわゆる平成の大合併により、旧豊岡市と出石郡出石町・同但東町・城崎郡城崎町・同日高町・同郡竹野町が合併し、現在の市域となっている(第4図)。このなかで、南構遺跡の所在地は、旧の日高町にあたる(第4図)。旧日高町は豊岡市の南部に位置し、南側は養父市と接している。豊岡市の令和4年7月末現在の人口は約78,000人である。



第2図 南構遺跡の位置

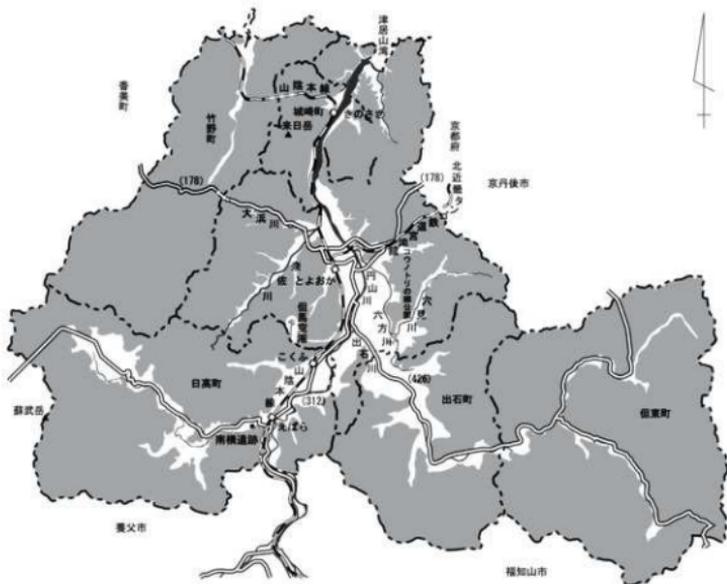
### 2. 旧日高町の地理的位置

豊岡市は山地と盆地からなる。山地が市域の約80%を占め、その中央部を円山川が流れている。円山川は朝来市生野町円山を源とし、養父市を経て、豊岡市津居山で日本海へと注いでいる。上流域では田路川・神子畑川と、中流域では与布土川・糸井川・大屋川・八木川と、下流域では稲葉川・出石川・六方川・奈佐川と合流している。全長67kmを測り、流域面積は1300km<sup>2</sup>におよぶ。また、但馬地域では唯一の一級河川である。



第3図 中流域の稲葉川

豊岡市は円山川の下流域にあたり、流域最



第4図 旧豊岡市の地理的環境

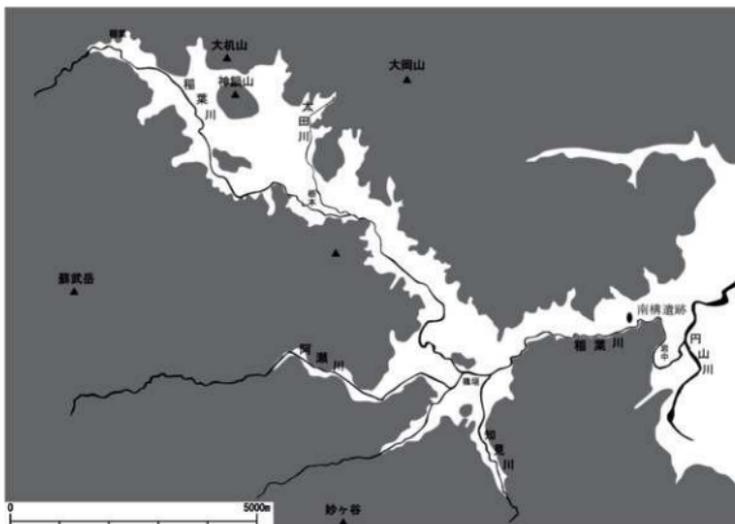
大の盆地「国府平野」が開けている。この盆地の南部に旧日高町の中心部が所在する。旧日高町は、東部の盆地と、そこから北西方向にのびる谷が中心となり、周囲は山地からなっている。この谷は、円山川の支流をなす稲葉川(いなばがわ)を中心に形成されたものである(第6図)。

稲葉川(第3図)は、旧日高町の北西部、蘇武岳の北側を源流とし、上流域(橋本)で太田川と、中流域(篠垣・伊府)で阿瀬川・観音寺川・知見川と合流し、日高町岩中で円山川に合流している(第6図)。こ

の小谷が国府平野に接続する開口部のわずかに約600m西側に南構造跡が所在する。稲葉川の上流域には、近畿地域で最も新しい火山である神鍋山が所在する(第7図)。最新の活動は約6000年前と言われている。そして、この小谷が神鍋山噴火に伴う溶岩(第四紀火山岩類)の堆積からなっている(第5図 兵庫県1996)。この結果、溶岩の露頭が各所で認められ、南構造跡はその溶岩を含んだ土石流堆積層を基盤としていたことが明らかとなっている(第3章第1節)。



第5図 遺跡周辺の地質



第6図 稲葉川水系図

### 3. 南構遺跡の地形環境

南構遺跡が所在するあたりは谷地形がほぼ東西方向にのび、これと同方向に微高地がのびている(第8図)。そしてこの微高地上に南構遺跡が立地している。南側は稲葉川によって形成された高い崖となっている。河床との比高は約4mである。北側については、小谷の中心部(久斗川)に向かって顕著な傾斜が認められ、後背湿地状を呈している(第9図)。

南構遺跡が立地する微高地については、その基盤が土石流の流路を反映したものと考

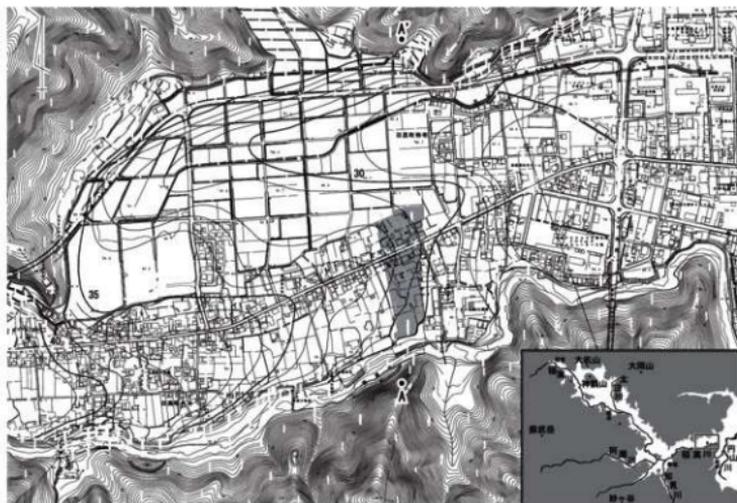


第7図 神鍋山火口

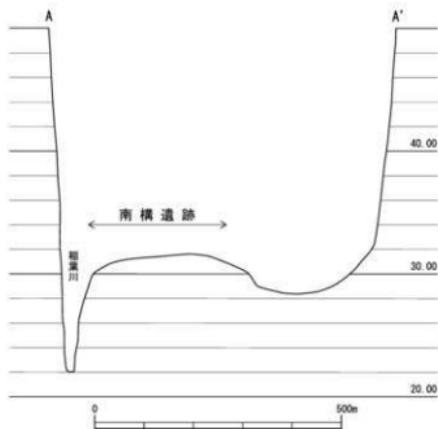
えられる。そして、南構遺跡の基盤層は溶岩(玄武岩)を含む土石流堆積層となっている<sup>(1)</sup>。ちなみに、南構遺跡北側の後背湿地にあたる地区においては、確認調査の結果、現地表面下約3mにおいても溶岩は確認されていない。そしてこの地域には埋蔵文化財の包蔵は認められない。

[註]

(1)溶岩については、兵庫県立大学 先山 徹・松原典孝両氏により現地にて実見いただき、御教示いただいた。



第8図 遺跡周辺の微地形



第9図 遺跡周辺横断面図

〔文 献〕

兵庫県 1996『兵庫の地質』

## 第2節 歴史的環境

### 1. はじめに

南構遺跡は、稲葉川によって形成された谷底平野の東部に位置する。本節では、当該平野を中心に遺跡の状況を見ていきたい。南構遺跡の調査では、縄文時代から室町時代にかけての遺構・遺物が明らかとなっている。なかでも、縄文時代から平安時代にかけての遺構・遺物が顕著である。そこで、縄文時代から平安時代の遺跡を中心にみていくことにする(第10図・第11図 第1表・第2表)。

### 2. 縄文時代

当該期の遺跡は、谷底平野奥部の神鍋遺跡(4)を西端として、谷の開口部の焼ケ辻遺跡(79)まで、10遺跡が周知されている。また開口部より円山川をわずかに遡った地点においても、カジガ谷散布地(94)が周知されている。荒川遺跡(38)と伊府遺跡(60)を除いては、山麓部に立地している。また当該地域では、草創期まで遡ることが明らかとなっている。

草創期まで遡る遺跡としては、ミダレオ遺跡(5)や山宮遺跡(18)が発掘調査により明らかとなっている。特に神鍋遺跡(4)では発掘調査が行われるとともに、地元の研究者による長年にわたる採集の結果、良好な資料が蓄積されている<sup>10)</sup>。調査では、草創期から晩期にかけての土器が出土している(藤井・阿久津1970・日高町1980)。遺構としては、前期の住居跡・配石遺構・貯蔵穴、早期の配石遺構などが明らかとなっている。南構遺跡と同時期の資料として注目される。

山宮遺跡(18)では草創期前半から後期にかけての土器が、伊府遺跡(60)では草創期・後期の土器が、それぞれ調査により出土している(阿久津・和田1974)。その後、農道整備事業に伴う発掘調査においても遺構は未検出であるが、早期の黄鳥式と考えられる押型文土器などが多く出土している(池田1998)。また、すくもづか遺跡(22)でも早期の遺物が出土している(日高町1980)。水上遺跡(85)においても楕円押型文土器が採集されている(丹治1979)。

草創期・早期に続く時期の遺跡としては、平野開口部のやや北側にあたる水上遺跡(85)で前期・後期・晩期の土器が出土している(日高町1980)。また、柿布ケ森遺跡(78)でも調査により中期から晩期にかけての土器・石器が出土している(日高町1980)。ただし遺構に伴うものではない。さらに、森山遺跡(46)でも後期末から晩期にかけての土器が調査によって明らかとなっている(日高町1980)。これ以降では、焼ケ辻遺跡(79)・柿布ケ森遺跡(78)で晩期の土器が明らかとなっている(榎本・加古1976)。

このように、神鍋遺跡を除いては、草創期から晩期まで継続する遺跡は認められない。時期単位で谷底平野の各所に遺跡が散在していた状況を確認することができる。そして、その一遺跡として南構遺跡を位置付けることができる。

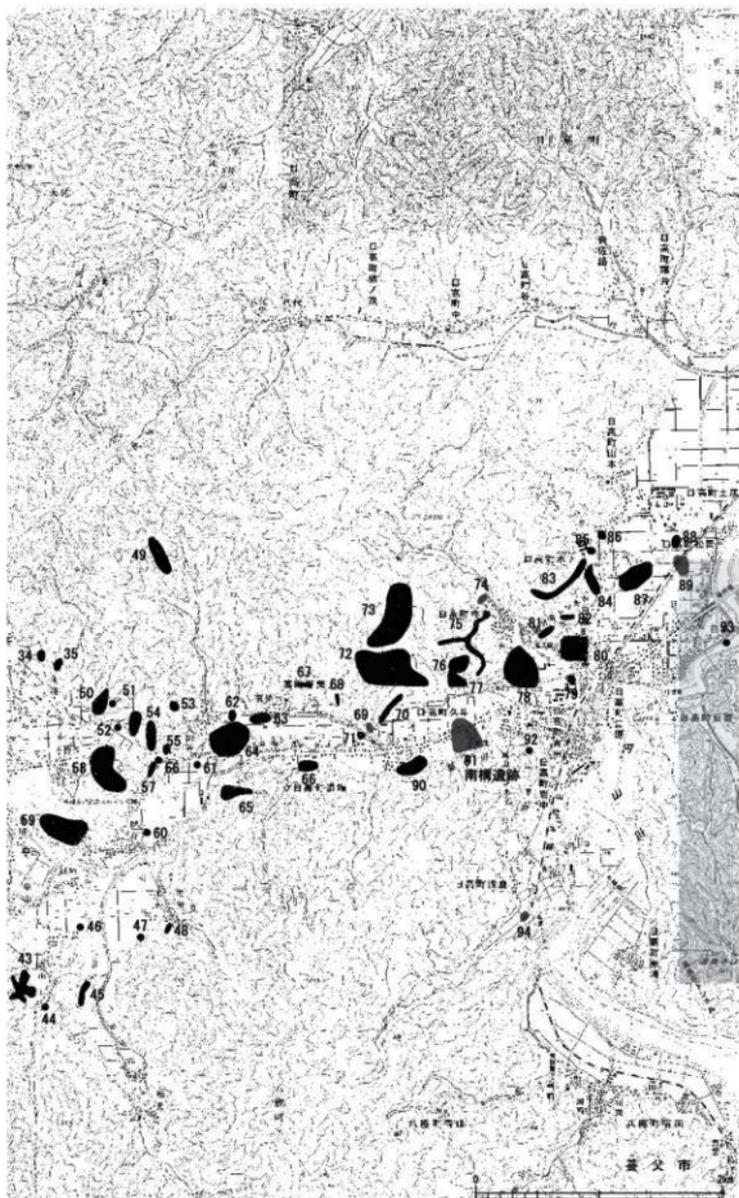
この他時期の特定はできないが、姫谷遺跡(52)では珧状耳飾が出土している(日高町1980)。

### 3. 弥生時代

当該期の遺跡は稲葉川上流域では認められず、中流域より下流域に分布が認められる。そして、平野部中央に遺跡が立地する点が縄文時代との相違である。またその数も縄文時代よりも限られている。このなかで、縄文時代から続く前期以降の遺跡の存在が明らかとなっている。



第10図 主要周辺遺跡(1)



第11圖 主要周辺遺跡(2)

第1表 主要周辺遺跡(1)

No	遺跡名	遺跡番号	所在地	時代
1	西気小裏山遺跡	610003	豊岡市日高町水口	古墳
2	下山古墳	610004	豊岡市日高町水口	古墳
3	大机敷布地	610010	豊岡市日高町東河内	平安
4	神鍋遺跡	610006・610027	豊岡市日高町太田	古墳・奈良・平安
5	ミダレオ遺跡	610077	豊岡市日高町太田	縄文・平安
6	調原古墳群	610007・610008・610083～610090	豊岡市日高町太田	古墳
7	西栗栖野古墳群	610015～610024	豊岡市日高町栗栖野	古墳
8	栗栖野古墳	610025	豊岡市日高町栗栖野	古墳
9	かんのくら古墳	610014	豊岡市日高町栗栖野	古墳
10	塚ノ本古墳	610013	豊岡市日高町栗栖野	古墳
11	宮ノ後古墳	610012	豊岡市日高町栗栖野	古墳
12	岩倉古墳群	610028～610061	豊岡市日高町栗栖野	古墳
13	堂ノ前敷布地	610011	豊岡市日高町万場	平安
14	名色釜野古墳群	610062～610066	豊岡市日高町名色	古墳
15	名色釜脇古墳群	610067～610075	豊岡市日高町名色	古墳
16	しわがの古墳	610076	豊岡市日高町太田	古墳
17	中野古墳群	610091～610097	豊岡市日高町橋本	古墳
18	山宮遺跡	610100	豊岡市日高町大岡	縄文
19	上住古墳	610103	豊岡市日高町山宮	古墳
20	岩倉古墳	610104	豊岡市日高町橋本	古墳
21	セイダ尾古墳群	610111～610113	豊岡市日高町石井	古墳
22	すくもづか遺跡	610101・610105	豊岡市日高町頃垣	縄文・古墳
23	宮後遺跡	610108	豊岡市日高町石井	古墳
24	荒畑遺跡	610109	豊岡市日高町頃垣	古墳
25	柿谷古墳群	610114～610124	豊岡市日高町石井	古墳
26	いなんば古墳	610125	豊岡市日高町石井	古墳
27	宮向遺跡	610110	豊岡市日高町石井	古墳
28	白鳥古墳	610156	豊岡市日高町石井	古墳
29	カイダ古墳群	610126～610140	豊岡市日高町石井	古墳
30	石辺古墳群	610142・610143・610183・610184	豊岡市日高町石井	古墳
31	小山古墳群	610174～610182	豊岡市日高町庄境	古墳
32	清坂古窯跡群	611431	豊岡市日高町十戸	古墳
33	小山窯跡	610259	豊岡市日高町庄境	古墳
34	吉井谷古墳群	610185・610186	豊岡市日高町庄境	古墳
35	湯替古墳群	610187・610188	豊岡市日高町庄境	古墳
36	野中古墳群	610206～610210	豊岡市日高町芝	古墳
37	獅子塚古墳群	610143～610155	豊岡市日高町獅子塚	古墳
38	荒川遺跡	610159	豊岡市日高町荒川	縄文
39	フンス遺跡	610261	豊岡市日高町殿	平安
40	大浜寺古墳群	610262～610264・610273～610280	豊岡市日高町栗山	古墳
41	近江谷古墳群	610281～610298	豊岡市日高町栗山	古墳
42	荒神山古墳群	610265～610270・610299～610308	豊岡市日高町観音寺	古墳
43	森山古墳群	610309～610343	豊岡市日高町観音寺・森山	古墳
44	河原古墳	610344	豊岡市日高町観音寺	古墳
45	赤城古墳群	610345～610351	豊岡市日高町観音寺	古墳
46	森山遺跡	610272	豊岡市日高町栗山	縄文
47	蔵谷古墳	610352	豊岡市日高町佐田	古墳
48	矢谷古墳群	610353～610356	豊岡市日高町佐田	古墳
49	大谷古墳群	610252～610258	豊岡市日高町久田谷	古墳
50	大平古墳群	610189～610200	豊岡市日高町野	古墳
51	姫谷古墳群	610201～610205	豊岡市日高町野	古墳
52	姫谷遺跡	610162	豊岡市日高町野	平安

第2表 主要周辺遺跡(2)

No	遺跡名	遺跡番号	所在地	時代
53	上山古墳群	610250・610251	豊岡市日高町久田谷	古墳
54	ジイガ谷古墳群	610248・610249	豊岡市日高町久田谷	古墳
55	ジイガ谷遺跡	611444	豊岡市日高町久田谷	奈良・平安
56	辺坂峠遺跡	611446	豊岡市日高町久田谷	奈良
57	横山古墳群	610222-610230	豊岡市日高町久田谷	古墳
58	野古墳群	610216-610221	豊岡市日高町野	古墳
59	御所山古墳群	610231-610247	豊岡市日高町伊府	古墳
60	伊府遺跡	610158	豊岡市日高町伊府	縄文・弥生
61	辺坂古墳	610631	豊岡市日高町久田谷	古墳
62	稲岡古墳群	610629・610630	豊岡市日高町夏栗	古墳
63	下坪・井口遺跡	611441	豊岡市日高町夏栗	弥生～平安
64	久田谷遺跡	610575	豊岡市日高町久田谷	縄文・弥生
65	市場古墳群	610632-610642	豊岡市日高町道場	古墳
66	一本木遺跡	611438	豊岡市日高町道場	縄文・古墳～中世
67	山王山古墳群	610622-610625	豊岡市日高町夏栗	古墳
68	下山古墳群	610618-610621	豊岡市日高町夏栗	古墳
69	下ヶ谷古墳群	610627・610628	豊岡市日高町久斗	古墳
70	久斗遺跡	610577	豊岡市日高町久斗	平安
71	浪滝遺跡	611440	豊岡市日高町夏栗	弥生・奈良・平安
72	郡是ウラ山古墳群	610602-610617	豊岡市日高町祿布	古墳
73	定谷古墳群	610579-610601	豊岡市日高町祿布	古墳
74	小垣谷遺跡	630227	豊岡市日高町祿布	奈良・平安
75	小垣谷古墳群	610732-610750	豊岡市日高町祿布	古墳
76	四反谷古墳群	610760-610791	豊岡市日高町祿布	古墳
77	定谷遺跡	610651	豊岡市日高町祿布	平安
78	祿布ヶ森遺跡	610646	豊岡市日高町祿布	平安
79	焼ヶ辻遺跡	610647	豊岡市日高町祿布	縄文
80	但馬園分寺跡	610648	豊岡市日高町祿布	奈良・平安
81	原谷古墳群	610708-610710	豊岡市日高町祿布	古墳
82	天神古墳群	610711-610713	豊岡市日高町園分寺	古墳
83	小弥田古墳群	610702-610707・610714-610729	豊岡市日高町水上	古墳
84	上ノ山古墳群	610861-610865	豊岡市日高町水上	古墳
85	水上遺跡	610649	豊岡市日高町水上	縄文・古墳
86	但馬園分尼寺跡	610652	豊岡市日高町水上	奈良・平安
87	深田遺跡	610650	豊岡市日高町水上	平安
88	カナゲ田遺跡	610653	豊岡市日高町松岡	平安
89	川岸遺跡	611098	豊岡市日高町鶴岡	平安
90	上代散布地	610578	豊岡市日高町久斗	古墳
91	南橋遺跡	610644	豊岡市日高町久斗	縄文～鎌倉
92	城山古墳	610823	豊岡市日高町岩中	古墳
93	馬場ヶ崎古墳	611106	豊岡市日高町鶴岡	古墳
94	カジガ谷散布地	610878	豊岡市日高町朝倉	縄文・弥生

最も上流域にある久田谷遺跡(64)では、調査により前期から後期にかけての集落が明らかとなっている(加賀見1985a)。さらに、下流域の浪滝遺跡(71)においても、前期の土器が調査によって明らかとなっている(渡辺1990)。弥生時代前期から当平野に弥生文化が伝播していた状況を伺うことができる良好な資料である。また、後期の生駒西麓産の土器も出土しており(東大阪市立郷土博物館1980 阿久津・和田1974)、銅鐸とともに畿内地方との関連を伺うことができる。

伊府遺跡(60)でも調査が行われ、溝状遺構から前期と中期の土器が出土している(日高町1980)。祿布ヶ森遺跡(78)でも前期の土器が出土している。

この他周知の遺跡とはなっていないが、ミダレオ遺跡(5)周辺においても、前期の土器が出土している。最も上流域にある久田谷遺跡(64)では、調査により前期から後期にかけての集落が明らかとなっている(加賀見1985a)。

中期になると、遺構は確認されていないが、袴布ヶ森遺跡(78)で土器の出土が認められる(日高町1980)。

後期では久田谷遺跡が注目される。不時発見であるが、破砕された銅鐸片がまとまって出土している(加賀見1982)。佐原分類の突線鈕V式に分類される型式に復元されている。袴布ヶ森遺跡(78)・水上遺跡(85)・森山遺跡(46)が明らかとなっている。いずれも遺構は検出されていない。特に森山遺跡については、土器が表採されたのみである(日高町1980)。

#### 4. 古墳時代

当該地域において前期の古墳は明らかとなっていない。可能性として、西気小裏山遺跡(1)が挙げられる。対象とする谷底平野の最上流部に位置し、丘陵部から布留式の土器が出土しており、墳墓の可能性が指摘されている(日高町1980)。



第12図 山王山2号墳

中期においても、馬場ヶ崎古墳(93)に限られる。平野開口部の東端、円山川に面した古墳で、竪穴式石室を埋葬施設としている。直刀・剣・鏡・玉類・円筒埴輪片が出土している(日高町1980)。その他、4基の古墳からなる山王山古墳群(67)中の2号墳(第12図)についても、未調査ではあるが竪穴系の埋葬施設が想定され、中期を中心とした時期が考えられる。

後期になると、古墳が爆発的に増加する。基本的に丘陵頂部および尾根上に立地している。このなか



第13図 岩倉3号墳石室内

に丘陵頂部および尾根上に立地している。このなかで、南構遺跡の南側丘陵部には古墳が周知されていない点が注目される。わずかに、南構遺跡南側の丘陵東端部で城山古墳(92)1基が知られているに過ぎない。径7mの円墳であるが、時期は特定できない。稲葉川下流域では、古墳はその左岸丘陵部に立地している。南構古墳群との関連で注目される。

これらの古墳の大半は地形面観察の結果によるもので、調査が行われた例はわずかである。このような状況のなかで実態が明らかとなっているのは、調原古墳群(6)・岩倉古墳群(12)・小山古墳群(31)・小垣谷古墳群(75)に限られる。築造時期は、いずれも6世紀後半と考えられている。

調原古墳群(6)は尾根上に立地する10基からなる古墳群である。そのなかの4号墳について竪穴式石室を埋葬施設とする古墳であることが明らかとなっている(日高町1980)。岩倉古墳群(12)は丘陵上に立地し、円墳34基からなる。8号墳が竪穴式石室を埋葬施設とする以外は、横穴式石室を埋葬施設として

いる(武庫川女子大学考古学研究会1976)。この中の3号墳は、石室が玄室長3.70m、幅2.40mの規模からなり、5～6段に石が積まれている(第13図)。石室内からは、須恵器(杯・杯蓋・壺・高杯)・鉄鎌・鏡・兵庫鎖・轡・留金具・金環・管玉が出土している(日高町1980)。石室の石材として溶岩が用いられている点は、南構古墳群と共通する特徴である。ただし、岩倉古墳群は溶岩の供給元にあたる神鍋山の南側山麓部に立地している点を考慮する必要がある。

小山古墳群(31)は9基からなる古墳群であるが、そのなかの3号墳について調査が行われている(瀬戸谷2005)。調査では6世紀代の木蓋石室が検出され、韓半島との関係が目ざされている。

さらに、小垣谷古墳群(75)は19基からなる古墳群であるが、16号墳～18号墳の3基について調査が行われ<sup>2)</sup>、割竹形木棺と箱形石棺をそれぞれ埋葬主体とする方墳が明らかとなっている。古墳時代中期末の時期が考えられている。

この他、市場古墳群(65)は11基からなり、野中古墳群(36)は5基からなり、石辺古墳群(30)は2基からなり、いずれも横穴式石室を埋葬施設としている(日高町1980)。いずれも時期の特定はできないが、6世紀後半を中心とした時期が考えられる。

当該期の集落遺跡についても、浪滝遺跡(71)・小垣谷遺跡(74)・深田遺跡(87)で調査が行われ、一部その内容が明らかとなっている。浪滝遺跡では前期と後期の土器が調査で出土している(渡辺1990)。また、小垣谷遺跡の調査では、前期および古墳時代後期から飛鳥時代にかけての土器が出土している。前期については土器の出土に限られる。一方、後者については、土師器と須恵器の出土に加えて、土壘が明らかとなっている。深田遺跡ではTK10型式～TK43型式の祭祀を想定させる遺物が出土している(仲田2021)。

## 5. 奈良時代・平安時代

当該期、南構遺跡が位置する一帯(旧日高町一帯)は、但馬国気多郡高田郷に編入されていた。そして「日本後紀」延暦23年(804)正月壬寅条に「遷但馬国治於気多郡高田郷」との記事がある。そして、この記事および後述する祢布ヶ森遺跡の調査成果(榎本・加古1976 前岡2012)、袴狭遺跡群の調査成果(鈴木2000)から、移転前の国府(第1次但馬国府)が出石に、移転後の国府(第2次但馬国府)が当地に置かれていたことがほぼ定説化しつつある(前岡2012)。

祢布ヶ森遺跡(78)については、53次におよぶ調査が行われ(平成31年現在)、四脚門と大型建物、官衙風配置の建物、三彩・緑釉陶器・灰釉陶器など大量の施釉陶器の出土、漆紙文書や木簡等、但馬国府内である可能性を示す成果が得られている(日高町教育委員会2002)。特に木簡については、題籤を含めて、「朝來郡」や「二方郡」といった但馬国内からもたらされた内容の記載があり、国府と判断する重要な資料となっている(前岡2012)。

ここで祢布ヶ森遺跡との関連で注目されるのが、深田遺跡(87)・カナゲ田遺跡(88)・川岸遺跡(89)である。これらの遺跡は、祢布ヶ森遺跡の北東に広がる国府盆地に所在する遺跡である。深田遺跡では、遺構そのものは確認されていないが、木簡や木製祭祀具・墨書土器などが大量に出土している(吉識1991)。国府に近い性格をおびた遺物群である。また、カナゲ田遺跡(吉識1991)と川岸遺跡(加賀見1985b)においては人形などの木製祭祀具が出土しており、戦所の性格が考えられている。さらに川岸遺跡においては、木履・楯扇・墨書土器の出土から近くに官衙施設の存在も想定されている。

この他但馬国府(祢布ヶ森遺跡)の西側においても、定谷遺跡(77)が官衙関連の遺跡として注目されて

いる。南構遺跡の北約250mと、近接して所在する遺跡である。北近畿豊岡道建設に伴い本発掘調査が行われ、官衙風配置の掘立柱建物跡や郡の範囲を超えた内容の木簡、石帯・緑釉陶器・木製祭祀具等が出土している。そしてこれらの遺物の示す年代が第2次但馬国府(延暦23年)以前を示すことから、第2次国府関連の施設もしくは気多郡衙の一部の可能性が考えられている(まちづくり技術センター2013)。

また、近年新たに小垣谷遺跡の存在が明らかとなり、調査により当該期の遺構・遺物が明らかとなっている<sup>[3]</sup>。祇布ヶ森遺跡の北約1kmの狭小な谷地に立地する遺跡で、約3000㎡の範囲について調査が行われている。調査では当該期の掘立柱建物跡と溝・土坑などが検出され、多量の須恵器・土師器が出土している。少量ではあるが緑釉陶器も出土している。ただし、墨書土器・硯等の出土は認められない。以上から、官衙ではなく一般の集落であったと考えられ、第2次但馬国府の下級官人の集落の可能性が指摘されている。南構遺跡と同様、第2次但馬国府関連の遺跡として注目される。

さらに、第2次但馬国府(祇布ヶ森遺跡)の北東側では、但馬国分寺跡(80)・但馬国分尼寺跡(86)が明らかとなっている。特に但馬国分寺跡(第14図)については精力的な調査が続けられ、調査は38次(令和3年現在)に及んでいる(概本1973・日高町教育委員会2002・前掲2017)。調査の結果、金堂・中門・僧房跡・塔跡・回廊跡などに伽藍配置が明らかとなり、寺城が一辺約160m四方からなるものと復元されている。また、大衆院の時代(8世紀後半～)、東回廊の建設(9世紀中頃～)、東回廊・築地廃絶後(10世紀中頃からの)3時期にわたり実態が変化していったことが明らかとなっている(仲田2021)。



第14図 但馬国分寺跡

但馬国分尼寺跡(86)については、礎石の露出が確認されている以外、調査が行われていないため実態は不明である(日高町1980)。

この他、南構遺跡の西約750mの浪滝遺跡(71)においても調査が行われ、当該期の土器が出土している。稲葉川中流域の姫谷遺跡(52)でも、遺構は検出されなかったが、人形・馬形・鳥形・齋串など多量の木製祭祀具が出土している(日高町1980)。8世紀後半頃と位置付けられている。また辺坂峠遺跡(56)においては、工事に伴い銅同環が複数出土している(兵庫県教育委員会2011)。

南構遺跡(91)においても、古くから須恵器杯身内面に付着した和同開珎が発見されていた(日高町1980)。

以上のように、南構遺跡を含めた稲葉川下流域一帯は、当該期の遺跡が集中する地であった。しかも、但馬の中核をなす遺跡群である。このように、南構遺跡・姫谷遺跡を含めた稲葉川中流域から下流域平野の遺跡は、当該期の重要な遺跡群をなしていたものと考えられる。特に南構遺跡は、これらの遺跡群内において、中心的な位置を示していたものと考えられる。

## 6. 鎌倉時代以降

当該期の遺構・遺物については、南構遺跡を除いては周知されていない。

## 〔註〕

- (1) 和田長治氏採集資料  
 (2) 平成29年度、兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部調査  
 (3) 平成29年度、兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部調査

## 〔文 献〕

- 阿久津 久・和田長治他 1974「山の宮遺跡」『兵庫県埋蔵文化財集報 第2集』兵庫県社会文化協会  
 池田征弘 1998「山宮遺跡—農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業に伴う発掘調査報告書—」兵庫県教育委員会  
 加賀見省一 1982「兵庫県久田谷遺跡出土の銅鐸片」『考古学雑誌』第68巻第1号  
 加賀見省一 1985a「久田谷遺跡」兵庫県城崎郡日高町教育委員会  
 加賀見省一 1985b「川岸遺跡発掘調査概報」兵庫県城崎郡日高町教育委員会  
 鈴木敏二 2000「狹路遺跡 小野川放水路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」兵庫県教育委員会  
 瀬戸谷 晴 2005「但馬の古代2」  
 丹治康明 1979「城崎郡日高町水上遺跡採集の押型文土器」『兵庫考古』第8号  
 仲田周平 2020「祢布ヶ森遺跡第53次発掘調査報告書—第2次但馬国府跡の調査Ⅱ—」豊岡市教育委員会  
 仲田周平 2021「史跡但馬国分寺跡の調査—但馬国分寺跡第38次調査成果—」『令和3年度 兵庫県埋蔵文化財調査成果連絡会』  
 仲田周平 2021「深田遺跡発掘調査報告書」豊岡市  
 東大阪市立郷土博物館 1980「もちはこぼれた河内の土器」  
 日高町史編集専門委員会 1980「日高町史資料編」日高町 以下、「日高町1980」と呼称  
 日高町教育委員会 2002「但馬国府と但馬国分寺 発掘調査からその謎に迫る」兵庫県城崎郡日高町  
 榎本誠一 1973「但馬国分寺跡Ⅰ 昭和48年度調査概報」兵庫県城崎郡日高町教育委員会  
 榎本誠一・加古千恵子 1976「但馬・祢布ヶ森西遺跡調査報告書—312号線日高バイパスに伴う発掘調査—」兵庫県城崎郡日高町教育委員会  
 兵庫県教育委員会 2011「兵庫県遺跡地図」  
 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部 2013「ひょうごの遺跡」第85号 以下、「まちづくり技術センター 2013」  
 藤井祐介・阿久津 久 1970「神鍋山遺跡」日高町教育委員会  
 前岡孝彰 2012「祢布ヶ森遺跡第40・41次発掘調査報告書—第2次但馬国府跡の調査Ⅰ—」豊岡市教育委員会  
 但馬国府・国分寺跡  
 前岡孝彰 2017「但馬国分寺跡の回廊跡の発見について」『平成28年度 兵庫県埋蔵文化財調査成果連絡会(資料)』兵庫県立考古博物館  
 武庫川女子大学考古学研究会1976「榑嶺古墳・岩倉古墳群調査報告書」兵庫県城崎郡日高町教育委員会  
 吉識雅仁 1991「但馬国府関連 深田遺跡・カナゲ田遺跡—日高バイパス建設工事に伴う但馬国府推定地内発掘調査報告書」兵庫県教育委員会  
 渡辺 昇 1990「浪滝遺跡」兵庫県教育委員会 以後、当遺跡については、左記報告書による。

### 第3節 既往の調査

#### 1. 概要

南構遺跡については、豊岡市教育委員会により本発掘調査と試掘調査が行われ(第15図)、既にその調査報告が刊行されている(仲田2017)。以下、その概要を紹介する。

#### 2. 本発掘調査

調査対象地は、今回報告する南地区中央部の東側に隣接する地区である。市道建設に先立ち行われた調査である。

調査では、古墳時代後期(6世紀末頃)の竪穴建物や掘立柱建物跡、奈良・平安時代の掘立柱建物跡や土壌が検出されている。古墳時代後期の遺構については本書で報告する遺構群と時的に一致するもので、一連の集落の一部とみることができる。また奈良・平安時代の遺構についても一連の集落とみることができる。このなかで、脆衣壺の出土が注目される。本書で報告するが、和同開珎を埋納した土器が出土しており、関連が注目される(後述：第8章第2節)。

この他、遺構は検出されていないが、弥生時代後期～終末期の土器が出土している。本書で報告する調査でも、同時期の竪穴住居跡等の遺構が検出されている。一連の遺構の一部と考えられる。

以上、豊岡市教育委員会の調査は、今回報告する南構遺跡の範囲が東側へ拡がることを示す良好な調査成果といえるものである。



第15図 南構遺跡の調査

### 3. 試掘調査

4地点(I：久斗字荒堀737・II：久斗字荒堀752-2・III：祇布字南構1241・IV：祇布字南構1304-11)で行われている。Iは南構遺跡の西限を明らかにするための調査で、他の3地点は住宅および施設建設に伴う調査である。

Iの調査では、縄文時代早期～室町時代の遺物を確認することができ、より西側へ遺跡の範囲が広がることが明らかとなった。また、IIIの調査においても古墳時代～平安時代の遺物が出土し、遺構も検出されている(仲田2017)。

IVの調査は、豊岡市教育委員会が実施した本発掘調査地点の南東側にあたる地点である。この調査においても古墳時代後期～平安時代の遺物が確認されている(仲田2022)。

以上、I・IIの調査により西側まで遺跡の範囲が広がることが明らかとなった(第15図)。またIVの調査により、より東側まで遺跡の範囲が広がることが明らかとなった(第15図)。

### 4. 小 結

豊岡市教育委員会の調査により、南構遺跡の範囲が、今回報告する調査地より東側へ50m、西側へ200m、少なくとも広がることが明らかとなった。

[註]

仲田周平 2017『小河江中黒窯跡・南構遺跡』豊岡市教育委員会

仲田周平 2022『南構敷布地』『令和2年度 豊岡市埋蔵文化財調査概要報告書』豊岡市教育委員会



第16図 南構遺跡全景 南上空から

## 第2章 調査の経緯

### 第1節 調査の起因

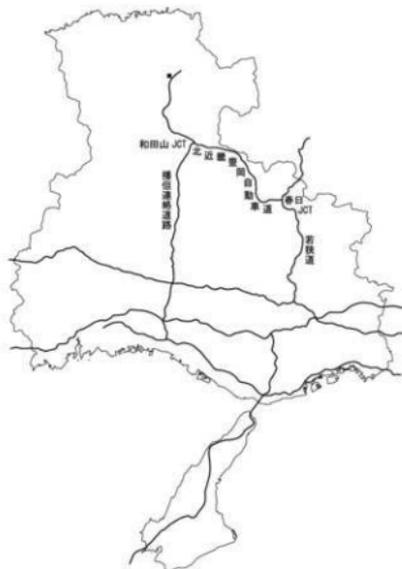
#### 1. 事業計画

調査は一般国道483号北近畿豊岡自動車道日高豊岡南道路(以下「北近畿豊岡自動車道」)建設に伴うものである。北近畿豊岡自動車道路は、春日JCTで若狭道と直結し、大阪方面と日本海側を結ぼうとするものである(第17図)。また、和田山JCTで姫路と和田山を結ぶ播但連絡道路と連絡し、兵庫県の瀬戸内海側と日本海側を結ぶことも目的としている。ただし北側については未定区間があり、計画が明らかとなっているのは、令和2年段階で、朝来市和田山町和田山JCTから豊岡南ICまでの区間である。

#### 2. 事業計画と調査

このなかで、日高・神鍋インターチェンジ建設およびその南側本線建設予定地(第19図)で行われたのが、本書で報告する南構遺跡と南構古墳群の調査である。調査地は、豊岡市日高町岩中・南構・久斗一帯で、側道部分を含めた工事建設予定地全域を対象とした(第18図)。ただし、その調査範囲は、後述する確認調査で明らかとなった埋蔵文化財包蔵範囲を対象としたものである(次節参照)。調査面積は計15490㎡である。このなかで、調査地を東西に横断する道路部分については、工事が及ばないことから調査対象外とした。

なお、調査は対象地全域を一括で行ったものではなく、工事計画に合わせた結果、計9次(第1次調査～第9次調査)に及ぶものであった(第21図)。本書では、これら9次におよぶ調査成果を一括で報告するものである。



第17図 兵庫県下の高速道路網



第18図 工事竣工後の南構遺跡 北から



第19図 工事計画と調査地

## 第2節 確認調査

### 1. はじめに

確認調査は、前節のとおり、工事工程に合わせて行う必要から、平成23年度と平成25年度2箇年で実施した。

### 2. 調査の概要

調査内容・体制等は以下の通りである。

#### (1)平成23年度(第1次確認調査)

**調査番号** 2011272

**調査期間** 平成23年12月26日～平成24年2月10日

**調査面積** 88㎡

**調査体制** 調査員 兵庫県立考古博物館埋蔵文化財調査部 山田清朝・垣内拓部

現場事務員 新瀬明日香

現場補助員 有馬雄太

**調査概要** 2m×4mのトレンチを37箇所を設定し、調査を行った(第20図)。調査対象地は大きく、市道を挟んだ北側と南側の2地区からなる。

北側については26箇所設定したが、32トレンチを除いては埋蔵文化財の包蔵は確認できなかった。これは、31トレンチ・32トレンチの北側が地形的に明らかに一段低くなっており、調査成果と地形が明確に対応した結果となっている。32トレンチでは古墳時代から平安時代にかけての土師器・須恵器の出土を確認するとともに、土壌を確認した。南側については、11箇所のトレンチを設定した。すべてのトレンチにおいて、遺構・遺物を確認した。

#### (2)平成25年度(第2次確認調査)

調査内容・体制等は以下の通りである。

**調査番号** 2013097

**調査期間** 平成25年7月1日～12月6日

**調査面積** 40㎡

**調査体制** 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター文化財調査部

山田清朝・仁尾一人・永恵裕和

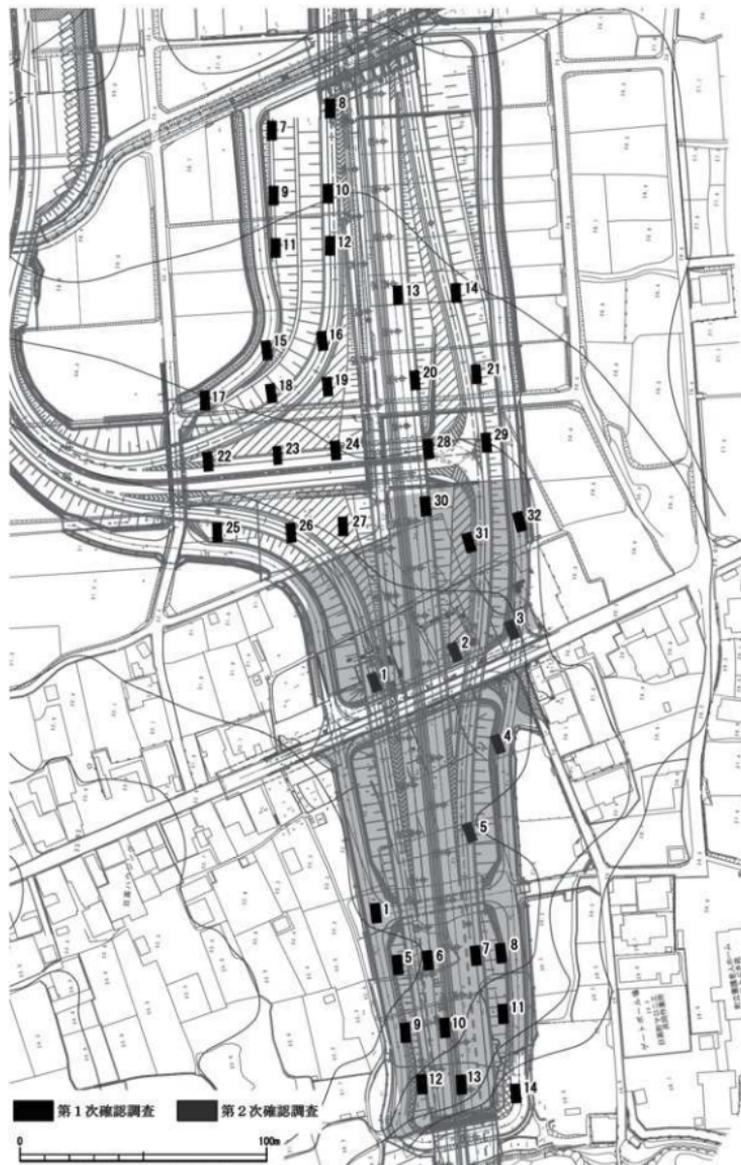
現場事務員 原 英美・日下部信子

現場補助員 田村清一郎・有馬雄太

**調査概要** 第1次確認調査で調査を実施できなかった地区と対象とした。具体的には、市道の南北両側の沿道にあった民家が退去した地区である。市道の両側計5箇所にて2×4mのトレンチを設定し、調査を行った。この結果、すべてのトレンチにおいて遺構・遺物を確認した。確認した遺物は、主に古墳時代から平安時代にかけての土師器と須恵器で、遺構としては柱穴・土壌が確認されている。

### 3. 小 結

以上、2次におよぶ確認調査の結果から、当地一帯には古墳時代から平安時代にかけての埋蔵文化財が包蔵されていることが明らかとなった。調査の対象となったのは、第20図の網掛けの範囲である。



第20図 確認調査位置図

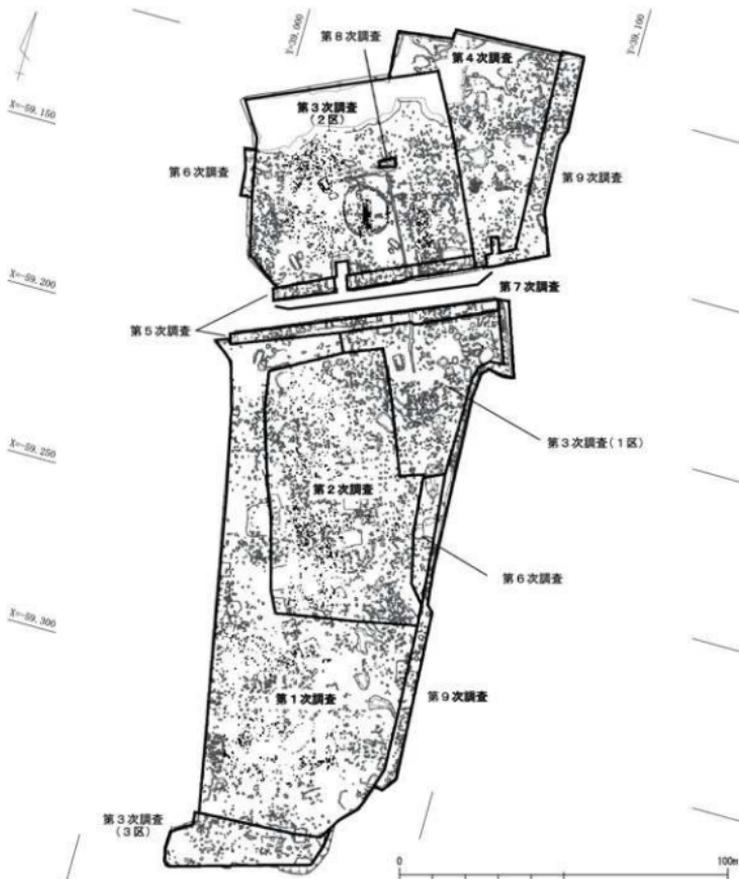
### 第3節 本発掘調査

#### 1. はじめに

本発掘調査は、前節のとおり、工事工程に合わせて行う必要から、平成25年度から平成29年度の5箇年にわたり行われた(第21図・第3表)。さらに、平成26年度と平成27年度の調査については、数次に分けて調査が行われている。

#### 2. 調査の概要

各年度の調査内容・体制等は以下の通りである。



第21図 年次別調査位置図

第3表 本発掘調査一覧

調査回数	調査年度	遺跡調査番号	調査面積 (㎡)	調査担当	調査対象地区
第1次調査	平成25年度	2013018	5459	山田・仁尾・永恵	
第2次調査	平成26年度	2014011	1525	山田・上田・永恵	
第3次調査	平成26年度	2014064	5420	山田・上田・永恵・奥野	1区・2区・3区
第4次調査	平成26年度	2014103	1720	渡辺・別府・鐵	
第5次調査	平成27年度	2015067	438	山田・渡瀬	A地区～F地区
第6次調査	平成27年度	2015132	256	山田・渡瀬	G地区・H地区
第7次調査	平成28年度	2016125	51	村上	
第8次調査	平成28年度	1016151	11	村上	
第9次調査	平成29年度	2017003	991	山田・別府・藤原・森田	I地区・J地区

## (1)平成25年度(第1次調査)

調査番号 2013018

調査期間 平成25年7月1日～平成25年12月6日

調査面積 5459㎡

調査体制 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

山田清朝・仁尾一人・永恵裕和

現場事務員 原 英美・日下部信子

現場補助員 田村清一郎・有馬雄太

調査概要 遺跡の南半を対象とした(第21図・第22図)。さらに、調査後における工事用進入路の確保の必要性から、西側の県道と南半の調査区を結ぶ範囲も対象とした。調査は、遺物が出土するレベルまで重機により掘削し、以下は人力により進めていった。

10月26日には、一般県民を対象とした現地説明会を実施した(第23図)。

## (2)平成26年度(第2次調査)

調査番号 2014011

調査期間 平成26年6月16日～平成26年9月24日

調査面積 1525㎡



第22図 調査前の南橋遺跡 北から



第23図 現地説明会(第1次調査)

**調査体制** 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

山田清朝・上田健太郎・永恵裕和

現場事務員 原 英美・日下部信子

調査補助員 田村清一郎・山田秀英・有馬雄太

**調査概要** 基本的な調査方法は第1次調査と同じである。大きく異なる点は、遺物出土位置の記録にあたっての電子平板の活用である(第30図)。調査終了後、先山 徹先生・松原典孝先生に現地を見ていただき、南構遺跡の基盤層が溶岩を含む土石流地積層であることを御教示いただいた(第24図)。

9月7日には、一般市民を対象とした現地説明会を実施した(第25図)。

(3)平成26年度(第3次調査)

**調査番号** 2014064

**調査期間** 平成26年9月24日～平成27年2月27日

**調査面積** 5420㎡

**調査体制** 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

山田清朝・上田健太郎・永恵裕和・奥野弘美

現場事務員 原 英美・日下部信子

調査補助員 田村清一郎・山田秀英・有馬雄太

**調査概要** 3地区を対象とした(第21図)。当初は、1地区(1区)のみの予定であったが、その後の本体工事の進捗の都合上、2地区(2区・3区)が追加となったものである。本調査においても電子平板を活用していった。

1区は県道より南側の地区である。

2区は県道より北側の地区である。当地区の調査については、南構古墳群の調査を中心とするもので、計5基の古墳(南構1号墳～南構5号墳)を検出した。

3区は第1次調査の南側に隣接し、南構遺跡の最南端にあたる地区である。

調査が一段落した12月21日には、2区と第4次調査地区を対象とした現地説明会を実施した(第27図)。



第24図 崎山・松原先生による現地指導



第25図 現地説明会(第2次調査)



第26図 空撮前の除雪作業 (第3次調査2区)



第27図 現地説明会 (第3次調査)

## (4)平成26年度(第4次調査)

調査番号 2014103

調査期間 平成26年11月6日～平成27年2月25日

調査面積 1720㎡

調査体制 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

渡辺 昇・別府洋二・織 英記

調査概要 第3次調査の東側から一部北側にかけての地区を対象とした(第21図)。調査は、第3次調査とはほぼ平行して行われた。このため、現地説明会は第3次調査と合同で行った。

## (5)平成27年度(第5次調査)

調査番号 2015067

調査期間 平成27年7月22日～平成27年10月28日

調査面積 438㎡

調査体制 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部 山田清朝・渡瀬健太

現場事務員 原 英美・日下部信子

調査補助員 田村清一郎・有馬雄太

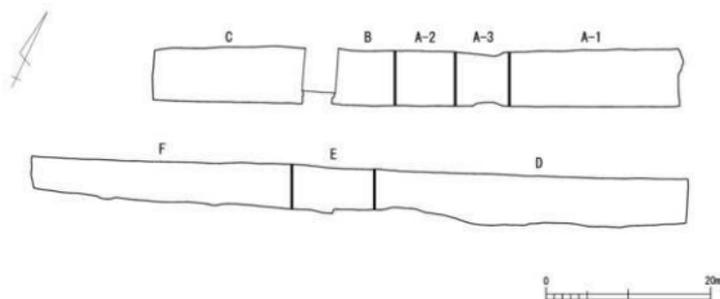
調査概要 市道の南北両側を対象とした(第21図)。工事用車両の横断を確保する必要から、大きく東西に2分割して行った。まず東半を調査対象とし(A地区)、東半終了後工事用車両の通行箇所を確保し、その後西半の調査を行った(第29図)。

東半の調査は、県道北側においては、2地区に分割して行った(A-1地区・A-2地区)。これは電柱を避けるためである。県道南側についてはD地区を対象とした。

西半については、北側・南側ともに2地区に分割して行った。北側については、防火水槽を調査対象外としたため、その東側をB地区、西側をC地区とした。南側については、既存の



第28図 ボールによる写真撮影



第29図 第5次調査地区割図

電柱の抜柱が遅れたため、電柱より東側をE地区として調査を先行させ、抜柱後その西側をF地区として調査を行った。

最後に、北側の電柱も抜柱されたため、その箇所についてA-3地区として調査を行った。

調査地は県道に平行し、幅2m～3mのトレンチ状をなす。このため、調査成果の図化にあたっては、ボール写真撮影を行い(第28図)、この成果をもとに行った。また、各地区の全景写真の撮影にあたっては、高所作業車を使用した。

(6)平成27年度(第6次調査)

調査番号 2015132

調査期間 平成27年12月21日～平成28年2月19日

調査面積 256㎡

調査体制 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部 山田清朝・渡瀬健太  
現場事務員 原 英美・日下部信子  
調査補助員 田村清一郎・有馬雄太

調査概要 G地区とH地区の2地区を対象とした(第21図)。G地区は、第3次調査2区で検出した南構4号墳石室の未調査部の調査を目的としたものである。H地区は、第2次調査の東側、用地買収が遅れた箇所を対象としたものである。

なお、今回の調査成果については、安全上の問題から現地説明会を実施できなかった。そこで調査終了後の平成28年2月21日に、豊岡市立歴史博物館にて第1次調査から第6次調査の成果を総括した形での発表会を開催した。53名の参加があった。

(7)平成28年度(第7次調査)

調査番号 2016125

調査期間 平成28年8月23日～25日

調査面積 51㎡

調査体制 調査員 兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課 村上泰樹

調査概要 南構遺跡を南北に2分する市道において、電線の地下埋設工事予定地を対象とした(第21

図)。工事立会として調査が行われた。調査は、幅80cmのトレンチを設定し、47.20mにわたり行われた。調査は工事がおよぶ現地表面下90cmまでを対象としたため、遺構が検出できる面まで及んでいない箇所も認められた。遺構検出面が検出された箇所では、柱穴・土壁等が検出され、さらに弥生土器の集中した出土箇所も認められた。

#### (8)平成28年度(第8次調査)

調査番号 2016151

調査期間 平成28年11月4日

調査面積 11㎡

調査体制 調査員 兵庫県立考古博物館埋蔵文化財課 村上泰樹

調査概要 第3次調査2区内において、電柱の撤去が遅れ調査ができなかった箇所を対象とした(第21図)。工事立会として調査が行われた。調査地は、大半が電柱埋設に伴うかく乱を受けていた。このため、調査では土師器・須恵器の細片が出土したが、遺構を検出することはできなかった。

#### (9)平成29年度(第9次調査)

調査番号 2017003

調査期間 平成29年5月18日～7月31日

調査面積 991㎡

調査体制 調査員 (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

別府洋二・山田清朝・藤原怡史・森田昇太郎

現場事務員 原 英美・日下部信子

調査概要 I地区とJ地区を対象とした(第21図)。両地区とも、側道の建設予定地を対象としたものである。さらに、I地区では、第4次調査において電柱の支線アンカーがあったため調査できなかった箇所および工事用道路として活用予定で調査できなかった地区も含まれている。

調査では、柱穴を中心に検出されている。このなかで、I地区で検出された南構7号墳が注目される。一連の南構古墳群の調査で明らかとなった石室のなかで最も良好に残存するものである。残念ながら、一部は調査区外(東側)に広がるため、完掘はできなかった。

なお両地区の調査成果の図化にあたっては、6月20日にI地区の、7月19日にJ地区の、ドローンによる写真撮影を行った。

### 3. その他

第2次調査以降、遺物の出土位置および遺構図の略測において電子平板を使用し、記録していった(第30図)。遺構番号の付与・遺物の取りあげ・平面図作成の正確性等において、大変有効であった。



第30図 電子平板使用状況

## 第4節 整理作業

### 1. はじめに

整理作業は、平成28年度から令和4年度の7箇年にわたり行われた。

### 2. 整理の経過

各年度の調査内容・体制等は以下の通りである。

#### (1)平成28年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 菱田淳子・池田征弘

調査課 山田清朝

嘱託員 柏原美音・友久伸子・森本貴子・池田悦子・宮田麻子・前田陽子

**整理概要** 第1次調査・第4次調査出土土器のネーミング作業を行った。

#### (2)平成29年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 菱田淳子・深江英憲

調査課 山田清朝

嘱託員 荻野麻衣・今村直子・門田諭佳・菅生真理子・沼田眞奈美・小野調子  
中井 翠・小林礼子・長井香苗

**整理概要** 第3次調査分の接合作業を行った。

#### (3)平成30年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 菱田淳子・深江英憲

調査課 山田清朝

嘱託員 森本貴子・荻野麻衣・柏原美音・八木和子・今村直子・小野調子  
前田陽子・宮田麻子・門田諭佳・小林礼子・菅生真理子・中井 翠  
長井香苗・七尾宏美・尾鷲都美子・寺西梨紗

**整理概要** 金属製品の保存処理および出土土器の接合作業、その後実測を行った。平行して遺構図のトレース原因の作成および原稿執筆を行った。

#### (4)令和元年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 深江英憲・大本明弥・大嶋昭海

調査課 山田清朝

嘱託員 森本貴子・大前篤子・荻野麻衣・八木和子・桂 昭子・小野調子  
河合たみ・前田陽子・児玉昌子・石原香苗・岡崎眞子・梶原奈津子

小林礼子・菅生真理子・森松紗耶香・香山玲子

**整理概要** 金属製品の保存処理および出土土器の実測作業・復元作業を行った。その後、遺物写真撮影対象の土器について、復元作業を行った。これと平行して遺構図のトレース原因の作成および原稿執筆を行った。

#### (5) 令和2年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 西口圭介・藤原怜史・大嶋昭海

調査課 山田清朝

嘱託員 森本貴子・大前篤子・荻野麻衣・八木和子・小野調子・桂 昭子

児玉昌子・河合たみ・佐々木誓子・前田陽子・香山玲子・石原香苗

岡崎真子・小林礼子・菅生真理子・森松紗耶香

**整理概要** 昨年度に引き続き金属製品の保存処理および金属製品・石製品の実測、出土遺物の写真撮影を行った。そして、遺構図・実測図に関してはトレースを行った。これと平行して原稿の執筆・編集作業を行った。

さらに、碧玉製玉製品の石材産地同定を遺物材料研究所(薬科哲男)に、土師器付着物の材質分析および漆塗土器の塗膜分析をバレオ・ラボ(竹原弘展・藤根 久・米田恭子)に依頼し、その結果をいただいた。詳細は第5章に掲載している。

この他、須恵器付着の赤色顔料の可能性のある付着物については、兵庫県立工業センターにて同センターの分析装置(島津製作所製 エネルギー分散型蛍光X線装置 EDX\_900)利用して行った。

#### (6) 令和3年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 西口圭介・大嶋昭海・野田優人

調査課 山田清朝

嘱託員 森本貴子・八木和子・佐伯純子・河合たみ・柏木明子

**整理概要** 昨年度に引き続き出土遺物の写真撮影を行った。また遺構図に関してのトレースを行った。これと平行して原稿の執筆および編集作業を行った。

さらに、土器付着赤色顔料・同漆塗膜・石室および石製品石材・ガラス玉に関しての分析・鑑定を依頼し、その結果をいただいた。詳細は第5章に掲載している。

#### (7) 令和4年度

**整理体制** (公財)兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

整理保存課 西口圭介・大嶋昭海・野田優人

調査課 山田清朝

嘱託員 森本貴子・河合たみ

**整理概要** 原稿の執筆・編集作業を行った。この間、囲碁盤に関して熊本大学大学院小畑弘己教授に御教示をいただき、3Dマイクロスコープによる撮影を行った。詳細は第5章第9節に掲載している。

## 第3章 南構遺跡の調査

### 第1節 概 要

#### 1. 基本層序と遺構の検出

調査地の基本土層は、上から表土層・黒ボク層・基盤層とシンプルである(第31図・第32図・第34図)。遺跡全体において同様の基本土層である。黒ボク層については、大きく2層に分層が可能であるが、平面的な峻別は困難であった。上層が表土層、下層が黒ボク堆積後の土壌化層と考えられる。基盤層は、神鍋山噴火に起因する溶岩(玄武岩)を包含する土石流の堆積層である(第33図)。上面のレベルは一定ではなく、起伏が顕著である。

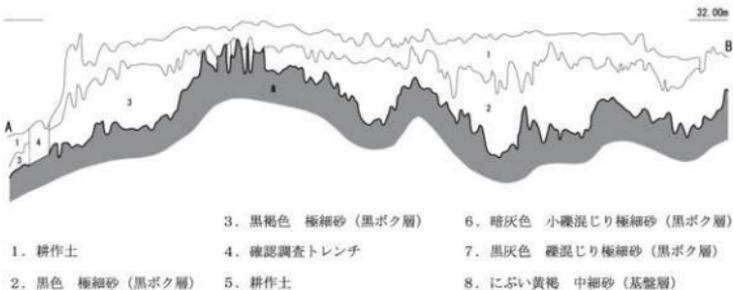


第31図 基本土層

遺構は基本的には黒ボク層上面から掘られたものと考えているが、実際には黒ボク層の下面=黄褐色土層上面で検出している。しかし黒ボク層の層厚が40cm~80cmを測るため、遺構そのものを良好な状態で検出することはできなかった。全体的に遺構検出面からの深さが浅い傾向が認められる。また上述した基盤層の特徴から、検出面のレベルは一定ではなく、起伏が顕著である。溶岩の露出も顕著である。また南端部において、一定の傾斜をもって標高を下げる傾向が比較的顕著に認められる。

以上の基本土層のもと、黒ボク層の層厚より浅い遺構が少なからず存在した可能性が考えられる。このため、建物の復元にあたり一部未検出の柱穴の存在も前提とした。そして柱穴の規模・平面形についても、多くがその底部付近のみの残存と理解し、浅いものについても柱穴と判断していった。

また、多くの遺物もこのような遺構に伴っていたものと考えられる。さらに浅い状態で検出された遺構に伴う遺物についても、その遺構が検出されたレベルより上のレベルで出土していることも考えられる。したがって黒ボク層の掘り下げにあたり、良好な状態で出土した遺物に関しては、出土状況を写真さらには図化により記録するとともに、その平面的な位置および標高を記録していった。これを平面図



第32図 基本土層(南地区)

と合成し、遺構と平面的に一致する遺物に関しては、当該遺構に伴う可能性が考えられたからである。上記の記録と平行して、出土地点にコノエを打設し、黒ボク層の掘り下げとともに打ち込み、遺構と平面的な一致の有無を現地においても確認していった。

なお、遺構の時期は弥生時代から鎌倉時代に及ぶものであるが、埋土の特徴はほぼ同じであった。このため、埋土の特徴から時期を判断することは困難であった。

調査地全体をみると遺検出面は平坦ではなく、顕著な起伏が認められる。その標高は南端部で28.60mと調査地のなかでは最も低いが、南地区全体としては30.50m～30.70mと高くなっている。一方北端部では、29.60mと若干低くなっている。



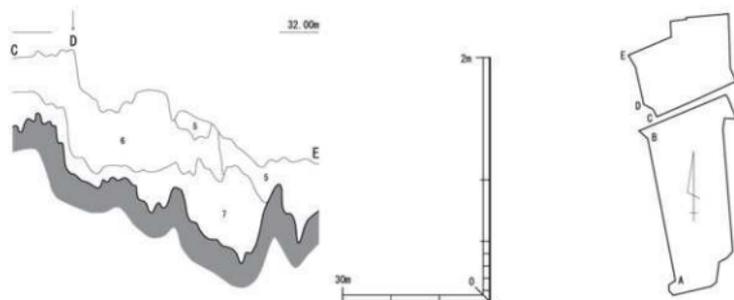
第33図 基盤層断面

## 2. 調査成果の概要

調査は9次に及ぶもので、これらの調査地は平面的に連続するものである(第35図)。そこで、報告ではこれらの調査を一括して報告していくことにする(第35図)。ただし、調査地を県道が東西に横断し、当該路下について調査はできず未調査地となっている。調査地はその南北両側にまたがる。そこで報告では、県道より北側を「北地区」(第36図)、南側を「南地区」(第37図)と呼称していく。

調査では南構遺跡と南構古墳群が明らかとなっている(第38図)。南構遺跡としては、弥生時代から中世にかけての遺構が検出されている。主な遺構としては、竪穴建物・掘立柱建物跡・土塋・溝・木棺墓が検出されている。竪穴建物は計21棟検出されている。掘立柱建物跡は計143棟復元されている。このほか、掘立柱建物として復元することのできなかった柱穴が7165穴検出されている。さらに、遺構を明らかにすることができなかったが、縄文時代の土器・石製品が出土している。

検出された遺構は、調査地の北側から南側にかけて顕著な粗密なく検出されている。竪穴建物については、一部を除いて切り合い関係は認められない。一方掘立柱建物跡については、顕著な重複関係をもって復元されている。切り合い関係も多く認められる。



第34図 基本土層（北地区）